

3 単純集計表（職員）

I 平成12（2000）年12月につくられた『川崎市子どもの権利に関する条例』についてお聞きします。

Q1 川崎市子どもの権利に関する条例を知っていますか。（○は1つ）

	件数	%
1 知っている	312	81.7%
2 聞いたことはあるが内容はよくわからない	62	16.2%
3 知らない	5	1.3%
無回答	3	0.8%
合計	382	100.0%

Q2 川崎市子どもの権利をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 職場での話	272	72.7%
2 職場以外の講座や学習会、研修会	114	30.5%
3 パンフレット	230	61.5%
4 川崎市ホームページ	77	20.6%
5 ポスター	115	30.7%
6 ちらし	71	19.0%
7 新聞、テレビなど	23	6.1%
8 その他	19	5.1%

【その他】

- ・林区
- ・職場の研修
- ・人権教育だより
- ・市政だより
- ・定期的に職場で取り組んでいる
- ・学校で子どもの権利について学習する
- ・教育委員会から配布される資料
- ・子どもの在籍している学校の授業
- ・個人的な、地域や自治体の活動
- ・小・中学生の時に子ども座談会で話題になった
- ・職場に送られてくる夢パーク通信などでみている。
- ・自分の子どもが学校からもらったパンフレット
- ・授業として実施（他2件）
- ・子ども会議に参加
- ・学校からのおたより
- ・大学の授業

（無回答=1、N値=374）

Q3 次の川崎市の取組で知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 かわさき子どもの権利の日	283	74.1%
2 川崎市子ども会議	289	75.7%
3 川崎市人権オンブズパーソン	267	69.9%
4 川崎市子どもの権利委員会	97	25.4%
5 子どもの権利に関する行動計画	64	16.8%
6 一つも知らない	21	5.5%

（無回答=5、N値=382）

Q4-1 7つの子どもの権利のうち、自分にとって大切だと思うものはありますか。あてはまるものを最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	314	82.2%
2 ありのままの自分である権利	29	7.6%
3 自分を守り、守られる権利	23	6.0%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	2	0.5%
5 自分で決める権利	2	0.5%
6 参加する権利	0	0.0%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	4	1.0%

（無回答=8、N値=382）

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	13	3.4%
2 ありのままの自分である権利	127	33.2%
3 自分を守り、守られる権利	113	29.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	16	4.2%
5 自分で決める権利	32	8.4%
6 参加する権利	3	0.8%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	17	4.5%

（無回答=61、N 値=382）

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	9	2.4%
2 ありのままの自分である権利	41	10.7%
3 自分を守り、守られる権利	75	19.6%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	26	6.8%
5 自分で決める権利	52	13.6%
6 参加する権利	12	3.1%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	72	18.8%

（無回答=95、N 値=382）

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・子どもは一番大切にされ、守られる存在である。
- ・愛情をもって育まれることが一番大切。（他 1 件）
- ・子どもは未来への宝物。命はもとより、愛情を受け、安全、安心に生活して欲しい。（他 1 件）
- ・子どもはひとりでは生きられず、大人の元で心配事なくのびのびと成長しなければならないから。（他 1 件）
- ・特に乳幼児期にこの権利が保障されることがその子たちの一生を考える土台になると思うので。
- ・安心して親や周囲の人たちから守られることは当然のことと思います。（他 1 件）
- ・この世に生をうけ誰もが当たり前につきべき権利だと思うから。（他 2 件）
- ・これがあたりまえだと大人も子どもも思えるような世の中でありたいと願うため。（他 2 件）
- ・家庭や学校など子供達が普通に生活出来ることが当たり前だから。
- ・安全安心に生活できることはとても大切だから。（他 1 件）
- ・生きていく為にとっても重要。（他 4 件）
- ・情緒を安定させ、生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけるためにとっても大切なことである。
- ・全ての人に平等に与えられているもの。（他 4 件）
- ・基本的人権の尊重と同等のものだから。
- ・安心して公平に生きられることが大切だと思うから。
- ・安心、安全が大切なキーワードだと思う。
- ・まず何よりも安心して生きることが保障されていることが子どもが生きて行く上で何よりも優先されるべきだと思うため。（他 38 件）
- ・子どもはやはり安心安全に生きるべきだから。（他 18 件）
- ・すべての権利の土台だと思う。（他 25 件）
- ・生きていくうえで、安心・安全が基盤になると思うから。（他 44 件）
- ・安心して生きてこそ、自分らしく生きていけるから。（他 4 件）
- ・心の安定を図ることが生きていく上で重要だと思うため。（他 2 件）
- ・安心できなければ、楽しむことや幸せを感じるなど難しいと思う。
- ・安心して生きることが、子どもの成長の上で何より大切だと思うから。（他 14 件）
- ・安全・安心な所で育つことが、子どもにとって最大の利益になると思うから。
- ・子どもとお年寄りが安心して生きられる社会がよい社会だと思うから。
- ・子どもは自分が愛されて生まれて来たということが自分の存在価値になると思う。それがなければ安心とは言えないから。（他 1 件）

- ・家庭が一番最初の小さな社会、両親の愛を受けた子は他に対して愛が芽ばえる。よい連鎖が続くと考える。（他 1 件）
- ・親だけではなく周りの人々からも沢山の愛情をもって育てられる事で安心感がうまれ伸び伸びと成長出来ると思います。（他 14 件）
- ・子どもたちが愛情(正しい愛情)を受けて育つことが、人間育成で重要であると思います。幸せを感じる力となると思います。
- ・子どもは育つ環境で大きく心身の成長に影響が出ます。愛情深い環境で育つことで、自己肯定感高め社会性を身につけ、他者に寄り添う心が育まれます。（他 3 件）
- ・こどもは愛情をたくさん感じるとのびのび過ごすことができるから。（他 1 件）
- ・愛情を受けて育った子どもは、愛情豊かになると思う。
- ・大切に育てられることが次の世代へと繋がっていくと考えるから。（他 2 件）
- ・愛情と安全と安心の中で、子どもたちは育てられる事が大切だと思います。
- ・子どもは守られるべきもの。安心できることが、成長に大きくかかわる。（他 2 件）
- ・わがままを言える人がいることは成長にとって大切。
- ・安心して暮らしていくためには、人種、貧困、学習不振、家庭問題などで差別されない社会を形成していかなければならない。子どもたちが健やかに心豊かに生活していくために大事にしていく権利である。（他 1 件）
- ・安全・安心に生活できることが人格形成に大切だと思うため。
- ・子どもたちが、安心して過ごすことのできる居場所があることが、健やかに生きる基礎だと思うから。（他 9 件）
- ・安心して生きる、つまり安心して過ごせる学校という場でこそ、学びも豊かになり、深まっていくと考えるから。（他 1 件）
- ・安心した環境の中で、特定の大人との愛着が育まれないと、その後の人生の人間関係において、人を信じられなくなる等大きな影響となるため。
- ・川崎市で安心して過ごしていけるように、地域で支え、子どもが安心して過ごせるようにする必要があるため。
- ・全ての子どもたちが安心できる国、世界。同等に老人なども同じことが言える。
- ・安心できる空気と場と人、仕事、関係性を守り守られること。
- ・安心して生きていられないと苦痛を感じるから。（他 2 件）
- ・愛情が生きていく上でのエネルギーになるから。（他 3 件）
- ・様々な環境で育ってきたこどもたちは、”自分なんて愛されるわけない”と思っている子も多い。そうではないことを伝えていきたい、知ってほしい。
- ・自分を受け入れてもらえる安心感、肯定感を高めてほしい。
- ・差別は世界的にも大きな問題である。
- ・心理的安全性で何が挑戦できるかわ変わると考えているから。（他 3 件）
- ・誰からも差別されず、だれからも愛情を深く受けることこそが、子どもの成長に大きな影響を与えると考えているから。（他 5 件）
- ・存在を否定されるほど残こくなことはないと思うから。
- ・差別を受けずに安心、安全に過ごす事は命を守ることにつながるから。（他 1 件）
- ・子どもを大切に差別を受けない環境を整備していく。
- ・まずは命を大切にされることが必要。（他 16 件）
- ・あたり前のことをあたり前にするため。
- ・生命が維持でき、健康安全がなければ、他の権利は、保障できないから。
- ・生命の保持は人として大切なこと、子どもは特に大人に守られて安全安心して過ごすべきと思う。（他 1 件）
- ・命の保障があることによって生活が成り立つ。
- ・虐待やネグレクト等問題視されている為。
- ・子どもが安心して学校生活を送れるようにしていきたいから。（他 2 件）
- ・まずは安心して生きられる環境がないと希望をもって生きられないから。（他 3 件）
- ・産まれた環境で左右されてしまう事は残念ながらあると感じてしまう。それでも、全ての子ども達が安全、安心が基本として生きていける権利を社会が保障していけたらよいと思う。（他 8 件）
- ・差別、虐待などをうけることなく、安心して社会で生きることが大切、命が一番大切。
- ・どの子も大切な存在であり、生まれてきただけでも素晴らしいことなのだと思いたい。どの子にも幸せになる権利、愛情を受け、安心して生きる権利があると思うから。（他 1 件）
- ・どの子も心も体も元気でいてほしいから。
- ・一人では生きていけないからみんなで守る。

2 ありのままの自分でいる権利

- ・一人一人の個性を大切にしたいから。（他 14 件）
- ・みんな同じような世の中はつまらない。
- ・7つの中で個人を大切にしているかなと思います。
- ・個人を尊重する社会でいたい。（他 1 件）
- ・今、様々な子どもたちがいる中で、自分をかくして過ごしている子どもも多いと感じたから。（他 1 件）
- ・今は「生きる力」が大切だとされており、自分自身の個性を大切に、自分らしさを発揮することが大切だから。（他 11 件）
- ・大人でも、子どもでも個としての大切な存在であり「～でなければならない」ということは、ないと思う。
- ・自分の「好き」を素直に言える環境であってほしいから。

- ・様々な活動参加の基盤となるから。
- ・世界の中でも将来の夢をもち、自信をもって自分の価値に気づいている子が少ないという日本なので自分らしく生きることを大切にしてほしいから。（他 6 件）
- ・個性が尊重され、ありのままの自分が受け入れられ、守られる雰囲気があることが、安心して自己表現や自己実現をすることにつながると思うから。（他 2 件）
- ・ありのままの自分を受け入れてもらえることで、自信にも繋がり愛されてると感じるため。
- ・自分のありのままを出せて、受け入れてもらったり違っていても認めてもらい、共に暮らせること。（他 1 件）
- ・ありのままを受けとめてもらえることで自己肯定感が上がると思うから。（他 4 件）
- ・自己表現ができ、その姿を認めてもらえることで自己肯定感が育まれる。
- ・自己肯定感を育むことこそ、生きる上で大切。（他 4 件）
- ・自己有用感をもつために大切だから。
- ・自分がありのままの自分で良いのだと言う自己肯定感を持ち、お互いをお互いに大切にしたい生きることが大切だと思います。（他 1 件）
- ・ありのままの自分を受け入れ自分を大切にしながら成長することが望しいから。（他 1 件）
- ・自分らしく自信をもって成長してほしいから。
- ・ありのままの自分であること。（他 12 件）
- ・子どもが一人として家庭や社会の中で大切にされ、自分である事を保障されるのは、自立した大人になるために欠くことのできない要素だから。
- ・自分を表現し、肯定されることで自己肯定感を養いありのままにいられるから。
- ・自分らしくいられることが大事。（他 9 件）
- ・2 がすべての権利の中心となると考えるから。
- ・自分らしく自信をもって生活していけるようになるから。
- ・当然の権利だと考えるため。
- ・その子らしさが受け止められることで、自分で決めたり参加したりできるなどの他の権利も保障されていくと思います。
- ・ありのままの姿やその子らしさ、良さが保障されるように。
- ・安全安心が基本だと思うから。
- ・ありのままの自分を受け入れられていると感じることは重要。
- ・自分らしくいられることは、子どもが子どもらしく子ども時代を過ごす上で、重要なことだと思う
- ・子どもが生きていく上で、一番大事にされるべき。
- ・生きる上で大切だと思うから。（他 4 件）
- ・これが大切にされないと安心して生活できないから。（他 6 件）
- ・安心が人格形成の中で土台となると思うから。
- ・休む場所が保障されてほしい。（他 2 件）
- ・これが土台となり、自分の人生を生きていけると思うので。（他 1 件）
- ・自分を受け入れてもらうために、ありのままの姿を見せることが大切。
- ・ありのままに良いんだよ、かけがえのない存在なんだよと伝えていきたいし、これも安心して暮らすことにつながると思う。
- ・ありのままの自分を受け入れてくれる場所や人間関係は今後もとても大切なことだと感じるため。（他 6 件）
- ・ホッとできる居場所が子どもたちには大切だと思います。（他 6 件）
- ・愛情を感じられ落ち着ける場所が生きていく上でのエネルギーになるから。
- ・自分の心や気持ちに素直で安心していられるようにしてあげたいと思う。（他 1 件）
- ・息苦しくなく、思ったことを言える環境が大切だから。（他 1 件）
- ・生命・いのちに直接的につながる権利だから。（他 1 件）
- ・心の安定がとても大事だから。
- ・個性や秘密が守られることは心に大きく影響する大切な問題なので。（他 1 件）
- ・多様性が言われているが、自分らしく生きられたら、自分の力も発揮できると思う。
- ・せっかくの能力がのびなかったり大人になってから後悔させてしまう可能性があるため。
- ・自分を素直に出せる場があることで、主体性や他者を思いやることへの発展に繋がると考えるから。
- ・大人でもむずかしい「ありのまま」という感覚が子どものうちに知らなければ、大人になって他人を大切にすることがむずかしい。
- ・自分らしく生きられることができて初めて、その人の人生を歩んでいると言えると思うため。
- ・学校、公共の施設、家庭と顔が異なる子が多いから。
- ・これが守られ、他の権利も成り立つと思える
- ・子どもは遊びが仕事と思う。毎日楽しく思いっきり遊んでほしい。
- ・今は大人の目が行き届きすぎ、必要以上にしつけや教育という名の指導によって、その子がそのまままで生き育つことが難しく逆に弊外を生じている場面を見る。（他 3 件）
- ・なぜ生きるかが自分の中でわかるために大切。
- ・家庭環境や個性に関わらず、その子が認められ生きられる場所があるべきだと思う。（他 1 件）
- ・まだまだ「わがまま論」が残っている。子ども同士、大人同士、子どもと大人が互いに認めあえる文化が必要だから。
- ・多様な社会の現在では、一人一人の個性が大事にされているし、そういった人が生きやすい社会を作るためにも必

要だと思うから。(他 2 件)

- ・違いを認め合うことで、誰もが自分らしくいられると安心するから。(他 4 件)
- ・現状の社会ではみんな同じであることを求められることが多く、みんなとは違うことに劣等感あるいは優越感を感じる場面も多いように思います。これらの感情は差別的な考えを生みやすいのではないのでしょうか。これからの未来を担う子どもたちに、互いを尊重し合い、自分自身を大切に思っていてほしいと願います。(他 3 件)
- ・課題や問題を抱えていたりマイノリティであってもその個性をそのまま受け入れることが必要であるから。(他 3 件)
- ・1人1人違いがあるのはあたり前のことであるから。(他 2 件)
- ・もう少し日本のムラ意識というか「他人の目」を評価基準とする価値観が変わった方がいいと思う。
- ・「自分らしく生きる」ことが認められれば他人にもそういう考えで接することができる。(他 1 件)
- ・特に乳幼児期にこの権利が十分に保障されることでしかこの権利が実態として身に付くことはないと思うので。
- ・この権利たちはすべてがつながり重なっていると思うので、何かひとつをしっかりと深く実行しようとするれば他のことも叶うと思うが、ありのままの自分であることを保障すればより幅ひろく大きく他へのつながりやすい感覚があったので2を選んだ。2をやろうとしてたどりつきにくい気がしたのが3や7で、そこも含めて捉えておくことで、人がもつ権利をより丸ごと保障することにつながるきがしたため。(他 1 件)
- ・1、3みたされてはじめて、ありのままにいられると思うから。(他 1 件)

3 自分を守り、守られる権利

- ・これが土台となり、自分の人生を生きていけると思うので。
- ・基本的な人権だから。(他 1 件)
- ・子どもであっても人権について知識を身につけ実践する必要性を感じるから。
- ・子どもが生きていく上で、一番大事にされるべき。
- ・当然の権利だと考えるため。
- ・どんな子どもでも存在そのものが大切にされる。(他 3 件)
- ・虐待を防ぐことが大切なので。
- ・虐待やいじめ、傷つけ傷つく行為はあってはならないため。(他 15 件)
- ・いじめ、虐待は特に重大な社会問題だから。
- ・過去に虐められた経験がある為。
- ・いじめや虐待はその子をないがしろにしていると思うから。
- ・いじめや虐待等がなくなる現実があるから。(他 2 件)
- ・様々な面において、虐待を受けている子どもが多いと感じられるから。(他 1 件)
- ・いじめはずっと前から問題になっており、それらを守っていく必要があると考えたから。
- ・子どもにとって最もつらいのは、いじめにあうことだと思うから。
- ・いじめ等を相談できる場所がないと、いじめから逃れられることができないから。(他 1 件)
- ・いじめ、虐待、体罰は、その子どもの人生において大きく左右するものであり、場合によっては命に関わるものであるから。(他 8 件)
- ・虐待、体罰は絶対によくないこと。将来に大きな影響をおよぼすことである。(他 3 件)
- ・いじめ、虐待、体罰は昨今の社会で大きな問題となっている。子どもたちを守っていかなければならないし、自分が大事にされていると思ってもらいたい。そして、子どもたちが気軽に相談できる学校、機関を充実させていくべきである。(他 2 件)
- ・身体的・精神的に子どもたちが守られることは大切だと思うから。(他 1 件)
- ・とにかく、子どもが心を痛めることは絶対に排除しなければならないと思っている。いじめ、虐待、体罰、ネグレクト、ヤングケアラーなど、自分を含めた大人が見て見ぬふりをする傍観者にはなあってほしくない。大人だけでなく子どもの人権を尊重すべきだと思っている。個々が考えを発信し、個々の考えが大事に扱われる世の中へと変えていきたいと思っている。
- ・自分は守られる存在なのだと思ふ必要があると思うから。
- ・家族のルールが当たり前となり、他者のアプローチを聞き入れる事が難しくなっている。しつくと称した体罰、虐待が絶えない。むしろ増えている。(他 1 件)
- ・大人として、地域と協力しながら暮せる街にしたいと思うため。
- ・守り守られることが命、生きることにつながるから。(他 8 件)
- ・どんな状況でも、自分の命を守ることが最優先にできる環境であってほしいから。
- ・生きる上で大切な自分の命や心を守り、守られていることを感じられる。
- ・生命の安全が確保されてこそ、すこやかに育つことができると思う。(他 2 件)
- ・自分の命を守る主導権は自身にあり、そのために社会に守られることも当然の権利であるから。(他 1 件)
- ・身体の安全が大切だと思うから。(他 1 件)
- ・守られる権利は大切、重要である。(他 4 件)
- ・どれだけ自分を高めようと努力しても、あってはならない外的な攻撃でそれが損なわれてはいけぬ。(他 1 件)
- ・家の中でも外でも、安心して生活できることが大切だと思うから。(他 2 件)
- ・頼れる人、場所の大切さ。信頼関係の構築。(他 4 件)
- ・生命の安全が第1であると思う。

- ・命に関わる危険な目に合わないことが重要だから。
- ・子どもは誰からも大切にされ、不安に思うことなく生活できることが大切だから。
- ・子どもは守られるべき存在だと思うから。（他 6 件）
- ・子どもたちも 1 人の人間。ただ守る所は守ってあげるべきだと思うので。
- ・集団で生きていて中で人とかかわりが、大事と考えるその中で、必要ない攻撃からは守らなければいけない。
- ・家でも、外に出ても、子どもの安心・安全な生活が保障されてほしいから。
- ・子どもは成長過程にあり、弱い立場になりがち。保護や配慮が必要。
- ・自分を守り、守られることが大事だと思う。（他 5 件）
- ・守られるだけではなく、自分で守る手段やきっかけが必要だと思うから。（他 1 件）
- ・自らを守ること・守られることは、自身の意見を尊重するとともに、生きていく上で社会が考えていくべき内容と考えるため。
- ・自分を守るとは自分自身しかできないこともあるから。
- ・自分を大事にできるためには、大切な権利だから。（他 1 件）
- ・安心して成長するために必要なことだから。（他 4 件）
- ・自分の考え、意見が守られることが大切。
- ・まずは安心・安全な生活が最優先だと考えるからです。（他 2 件）
- ・いじめ、虐待、体罰により、精神的、肉体的共に傷つく事から守られる。（他 7 件）
- ・大人の社会の歪みが子どもたちの生活に暗く重い影を落としていると感じることが多いので。
- ・いじめはあってはいけませんが困ったときにすぐに相談したり話したりできることが大切。（他 17 件）
- ・困難にぶつかった時に救われる場があることは大切。（他 1 件）
- ・被害に遭ったときに逃げられないと、対応（状況改善）ができないため。（他 1 件）
- ・危険な生活になったとしたら、そこから逃れる方法が必要。
- ・自分から、助けてと発信できない子どもたち、大人に守られる経験をつむことで自分も周囲に手助けが出来るようになってほしい。（他 1 件）
- ・周囲の大人からたくさん愛情をもらい自分自身を大事にしてもらうことで、自分の思いや心、身体、気持ちを大切にできる人になってもらいたい→そのことがまた他の人を大切に作る気持ちへとつながっていくと思います。（他 1 件）
- ・自分自身はもちろん他者からも守られることで必要とされていると感じることはとても重要だと思います。
- ・守られる権利があると分かっているだけで安心して過ごせるに繋がるのではと思うため。（他 2 件）
- ・守ってもらえることで心も豊かになると思うから。（他 1 件）
- ・子どもの意見が大切にされるべきだと思うから。（他 2 件）
- ・大丈夫だと思いき生活し、相手を尊重することは大事。
- ・自分の人生は自分のものだから。
- ・被害を受けることは自分のせいだと思うことで、自己肯定感がさがり、存在を認められなくなってしまう。嫌なことは嫌だと言っていること、その意見はとても大切だと伝えたいため。
- ・自分のことを聞き入れられることが大切。
- ・心体を守ること、大切に生きていくことが大事だから。
- ・どのような時、場所においても自己と他者の個人の安全や人権を守り、尊重すべきものだと思うから。（これは子どもに限ったことではありませんが。）
- ・いじめや虐待、体罰などからは、自分だけで逃れることは難しいから。また、小さいうちから自尊心を育てたいと思うから。
- ・相手に傷つけられたり嫌な思いをしない生活を大切にしていきたいから。
- ・友人とのトラブルの原因になっているから。
- ・1 と関連していて、困ったときに助けてもらったり相談できる環境が大切だと思うから。（他 6 件）
- ・これが守られ、他の権利も成り立つと思えるから。（他 2 件）

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・他者との比較ではなく、自分自身の成長を実感できるよう、ひとりひとりに合わせた環境を大人が整えていくことが大切だと思います。全ての子どもたちの自己肯定感が高まり、能動的に社会生活に参加できる世の中は素晴らしいのではと感じます。（他 6 件）
- ・相談先があること、相談相手や本人が心ゆるせる育成者が励まし、受け入れることで自己肯定感は高まり自身が自立して生きる力が得られる。
- ・成長のための活動、他者からの応援は情操づくりにかかせない。
- ・成長し、自信がつくことで心が豊かになり、挑戦する力が身に付く。（他 3 件）
- ・励まされ、勇気づけられながら自分自身に自信を他者を大切に作る気持ちを育ててほしいから。（他 1 件）
- ・自分のやりたい事を決められること、できること、は力になる。（他 1 件）
- ・様々な経験を通じて自ら出来ることが増えて自信を持ってほしいから。（他 1 件）
- ・子どもの成長の中で遊びの時間が社会生活の礎となる大切な時間のため。
- ・自分自身を成長させてほしいから。（他 3 件）

- ・生きていく中で、自分とよりよく成長させる、仲間との絆が大切。
- ・学びや向上心が生きる上で欠かせないから。（他 1 件）
- ・心身の成長に必要な援助、教育が与えられることは大切。豊かに生きていく為の芽を育てていくことが大切と考える。
- ・様々な体験や経験を経て、人は成長するものだと考えると、そういう環境が守られるべきだと考えるから。（他 2 件）
- ・多様化する現代の社会において、自分の能力を発揮できるような分野を見つけ、自分の可能性を伸ばしていったいから。
- ・子ども時代の経験はその後の人生に大きな影響を与えると思う。
- ・人生を楽しめるもの、生きることはすてきだととらえてほしいので。
- ・結局は自分で生きていかなければならない。
- ・将来この力があるなしでは自信が違うから。
- ・自分自身を豊かにすることは考え方を広げ、多面的・多角的に考えられると言うことである。成長していくにつれ、さまざまな意見でぶつかるが増える。そう言った社会の中で、さまざまな考えを持ち、さまざまな考えを受け入れる力は必要不可欠であると考え。（他 2 件）

5 自分で決める権利

- ・自分で考えて行動できる子どもに育ってほしい。（他 1 件）
- ・こどもの可能性は無限であり、自分のやりたいこと。なりたいたいことを表現できるようになってほしいです。
- ・誰かの言われた通りにするのではなく、相談しながら自分で決めることが大切だと思うから。（他 7 件）
- ・自分で決められる年齢になったら、自分で決められることは大事だと思う。
- ・人まかせにせず自分の意志を大切にしてほしいため。（他 1 件）
- ・子どもが自分の人生を主体的に生きることが大切だと思うから。（他 5 件）
- ・自分の道を自分で選択し、責任とやりがいをもって生きてほしい。（他 1 件）
- ・生きていく上で大切になっていくから。（他 7 件）
- ・子どもも「1 人の人間」であるため、決定に関して尊重するべき、危険等ない限り自己決定は、成長し、成人したときにも必要な力であるため。
- ・自己決定を積み重ねることで主体性が育まれると思うから。（他 1 件）
- ・子どもの主体性を大切にすることで、自分で決める力、考える力が養われると思うから。
- ・この権利が守られるということは、その子らしく生きられるということだから。（他 1 件）
- ・子どもが自分のことを自分で決めることは大切である。しかし、その機会を我々大人が奪ってはいないだろうか。大人は未完全な子どもを受け入れることができず、完全な者にさせたいというエゴを満たす言動を行ってしまっている。この状況は顕在化することが非常に少なく改善することが難しいと感じる。そういった視点でこの権利が大切だと考える。（他 4 件）
- ・子どもは大人の所有物ではありません。生きていく上で自己選択、自己決定、も大切。（他 3 件）
- ・大事なことほど、親や身近な大人の思いに左右されてはいけなから。（他 1 件）
- ・大人や親の指示ではなく自分が決めることの大切さは誰にでもあると思うし、そういう力をつけないと自立できないと思うから。
- ・社会へ向けて自立するためには、自己理解と判断力が必要。
- ・「自分で決めること」が権利であると感じるため。（他 3 件）
- ・これからの社会では、自分で考えて決断することが必要になってくるから。（他 3 件）
- ・自分のことは自分で決める。また、そのために必要な情報を得ることができることは子どもの自由を保障することにつながるから。（他 3 件）
- ・自分で考える、決める力は大切。そのために大人に「どうしたら?」と聞く力をつけることで、他者意識にもつながる。（他 1 件）
- ・自分で決めるクセを付けることで、様々な物事に深い関心を持ち、考える能力が向上します。決める責任が生まれ、どのように他者や社会と繋がっているのか気付き、自身の存在意義を感じるきっかけにもなります。
- ・子どもだからできないといった事は無いです。子どもの意思の尊重の大切さや、子どもにも知る権利があると思います。決める時に未熟な姿を感じたら、大人がサポートし、自分で決める事で生きる力にもなると思います。
- ・自分のことを自分で決めることが生活の基本となるから。
- ・よりよく生きていくために。
- ・まちづくり、学校の企画や運営に当事者の参画は大切だから。
- ・子どもであっても自分の意見は大切だと思う。
- ・自己決定できない子もいるため。（他 1 件）
- ・どんな子どもでも意志を持っているから。（他 1 件）
- ・命、個性、安心は自分の手で掴み守り、そのために周りに翻弄されることのない力を付けていくために必要だと思うから。
- ・守られたり支援を受けたりしても、決定権が自分になれば意味がない。（他 1 件）
- ・子どもであっても誰かにしぼられず、生きていけるとよいと思うから。
- ・最終的には自身で選択して生きていかななくてはならないから。

6 参加する権利

- ・自分を表現できる場所が子どもには必要だと思うから。
- ・まちづくり、学校の企画や運営に当事者の参画は大切だから。

- ・活動的に生活を営む、主体的な活動を社会に出てから行う為に必要です。他に足を付けて歩んでいる実感を持ってほしい。
- ・行動にうつすことができるようにしてほしいため。
- ・様々な事に参加して、様々な一員だと思いをもちてほしい。居場所にもつながると思う。(他1件)
- ・人は決して一人では生きていけない、社会とつながることが大事。(他1件)
- ・子どもの時から自分の意見を主張したりすることで、大人になった時にも自分の意見をしっかりとつなげられると思うから。
- ・権利を侵害されたときに、反対意見を述べたり主張したりして変えていけることは大切だから。(他1件)
- ・自分の意見を自由に言える世の中は素晴らしい。
- ・コロナで集まるものが減ったから。
- ・いろいろなことに参加していくことが大切。
- ・社会性が必要だから。

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・様々な環境や境遇にいる子ども全てが、同等に社会と関わる事ができるためには、大事な権利だから。
- ・子どもが成長していくのに重要なことであると思うので。
- ・個別の必要に応じて必要な権利を与えられるのは、国や障害などに関らず最も大切なことだと考えるからです。
- ・差別はあってはならないことで、誰もが社会の一員として認められるべきであるから。(他2件)
- ・障害や国の違いで差別があってはならないと思うから。(他5件)
- ・差別され、社会に参加できない状況はよくないと思うから。(他1件)
- ・障害グレーで差別や悪く思われる機会を目にすることがあるから。
- ・差別されることで自己否定につながると思うから。
- ・それがないと平等じゃないから。
- ・国の違い、障がいによる差別は大人でも起こりうる中で子どもは最も守られるべきだから。
- ・差別されず、支えられるべきだから。(他1件)
- ・社会的に弱い立場になりやすいため。
- ・困ったときに支援を受けることは子どもにとっての大切な権利だと考えるから。
- ・必要に応じた支援を受けることはとても大切だと思う。(他5件)
- ・その子の特性に応じて支援を受ける。(他8件)
- ・努力でなんともできない部分には支援が必要。
- ・障害や国の違いによって個別に支援する必要があるから。
- ・公的支援を必要とする。(他1件)
- ・いろいろな背景の子ども、みんな平等に支援を受けてほしい。(他1件)
- ・個別に支援をうけられることがあたりまえになってほしい。
- ・いまさまざまな支援を必要としている人たちがいます。その人たちが安心して生きられるようにするためには個別の配慮が必要だと思うから。
- ・発達、能力に差があり、受けられる福祉がまだ不十分だと思うから。
- ・できない子を切り捨てる学校もあるので、学力が低くても参加できる学校でありたいと思うため。
- ・支援が必要な子どもも増えているため、全ての子どもが生きやすい社会にするため。(他3件)
- ・どうしても支援が必要な場面が障がい者にはある。
- ・児童発達支援施設に従事しておりますが、全ての障害児者とそのご家族が社会から孤立せず、必要な支援を受けられるよう強く願っています。障害を理由に参加できないこと、交流できないことはかなり多いです。(他2件)
- ・個別に理解され支えられることが伸びしろを多くする条件になると思うから。
- ・必要であれば平等に社会が子どもを守る、という制度が整えられ、周知されることで、当たり前の機会をうばわれずにすむと思う。
- ・子どもが、のびのびと活動できる環境が、整えられてほしいから。(他1件)
- ・全ての子どもが同等の社会生活を送れる環境が望ましいと思うため。
- ・海外からの移住が多くなってきたので、より手厚い支援やコミュニティが必要になるため。(他1件)
- ・子どもの多様化に対応すべき。(他3件)
- ・やはり一人一人個性や特徴があり尊重されることが安心につながると思う。(他1件)
- ・同じことを求め、良しとするのではなく違いを理解し受け入れ合ってもらいたいから。
- ・それぞれの違いが認められ、必要な支援を受けられることは、自己肯定感を育むうえで、重要なものであると感じるから。
- ・障がいのある方だけでなく、多種多様な方々がいる中で共に暮らしていく世の中でなければいけないので大切だと思う。
- ・互いが助け合い、関わることで、多様性を受け入れられるようになる。
- ・やさしさ
- ・共生教育を受けることで生きやすい社会になると考えられるから。
- ・色々な子どもがいる中で助け、助けられて生きていけたら互いに豊かになれるのでは。
- ・この権利を知ることでも周りもその人に対する接し方がわかると思うから。
- ・障がいなどがあっても社会と共有できることは当り前の権利だと思う。
- ・様々な障害を抱えた子どもたちや、国籍の違う子どもたちが個に応じた支援を受けることで自信をもち、多くの活動に参加できる社会にしなければならない。ますます国際化が進む日本に必要な権利である。
- ・生活保護や福祉に関する事を税金の無駄と平気でたまたまうような大人になって欲しくない。お金があってもなくても、

障害があってもなくても、マイノリティでも、皆、同じ場所で生きている。平等だし、安心して暮らせるのが当たり前と思う人になって欲しい。紛争や貧困、差別に苦しむ人々のニュースを観て、考える事のできる人がこれからとても必要になると思う。

- ・あらゆる人が生きていきやすい世界になるため。（他1件）
- ・この権利も、安心して生活するために欠かせないと思うため。
- ・どんな子でも「所属感」をもって、自分は価値があると思えてほしい。

Q4-2 7つの子どもの権利のうち、守られていないと思うものはありますか。あれば最大3つまで選び、守られていないと思う順にその番号と理由や問題点を書いてください。

1 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	40	10.5%
2 ありのままの自分である権利	25	6.5%
3 自分を守り、守られる権利	59	15.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	12	3.1%
5 自分で決める権利	34	8.9%
6 参加する権利	19	5.0%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	50	13.1%

（無回答=143、N値=382）

2 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	7	1.8%
2 ありのままの自分である権利	23	6.0%
3 自分を守り、守られる権利	24	6.3%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	11	2.9%
5 自分で決める権利	25	6.5%
6 参加する権利	9	2.4%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	21	5.5%

（無回答=262、N値=382）

3 番目

	件数	%
1 安心して生きる権利	7	1.8%
2 ありのままの自分である権利	7	1.8%
3 自分を守り、守られる権利	13	3.4%
4 自分を豊かにし、力づけられる権利	5	1.3%
5 自分で決める権利	11	2.9%
6 参加する権利	6	1.6%
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	14	3.7%

（無回答=319、N値=382）

【選んだ理由】

1 安心して生きる権利

- ・学校に来られない児童が減るどころか増える一方だから。
- ・実際に差別はあると思うし、子どもを愛情をもって育てられない親もいると思う。
- ・家庭の問題等、複雑なことをよく聞くため。（各1件）
- ・家庭が安全・安心して生活できる場であるはずだが、そうではない家庭があるから。（各7件）
- ・人を傷付けたり、自分の命を粗末にしたり…。家庭で大切にされず育った結果だと考える。大人も子どもと一緒に親として成長するものだが、産んですぐ他人に任せ、愛を育むべき時に自分優先の大人が増えた。産みました、オムツ外し

- て下さい。食事与えて下さい。教育して下さいと、母も親になりきれていないままで不の連鎖がすでに始まっている。(他1件)
- ・子どもたちの中には、愛情を持って育ててもらえずに過ごして来た人も実際にいるので、きちんと子育てできない人が子どもを産むこと事態、疑問に思う。大人の勝手に、大切な命を粗末にはならないと思います。
 - ・親や親族からの愛情が行き届かず、こころの成長が止まってしまっている子どもがいる。
 - ・守られていない子供もいると感じる。親が安心して生きていることが大切な条件になると感じる。
 - ・毎日のように、虐待やネグレクト、DVなどのニュースが流れており、守られているとは言えない。子どもに関わる教育、福祉機関と警察又は同等の効力を持つ機関との連携が必要である場合もあると思うが、個人情報の保護は、助けを必要とする子どもや家庭にとっては邪魔になるので、条件を決めて、保護を解除しない限り、なくならないと思う。
 - ・虐待や傷つきが今の子どもたちにまだ多くみられるから。(他3件)
 - ・貧困生活が厳しいのだろうと感じることが日々ある。貧困層ほど保育時間が長く寂しさを感じている。(他1件)
 - ・ヤングケアラーのニュースなどを目にする事が多くなっています。社会の中で、そのような現実にある子どもたちが、救われる世の中であって欲しいと思います。(他3件)
 - ・家庭によって差があり、第3者が介入しにくい所があるため。
 - ・子どもに関心のない保護者が多いと思うから。(他2件)
 - ・ただでさえ、傷ついて児童養護施設に来ているのにその児童養護施設で安心出来る場所を提供できないようでは養育は出来ないと思います。日々の生活の中で子どもから不安をひろってあげる。
 - ・その子どもに合った生活環境を整え安心安全に生活できることが望ましいが、児相の一保の長期化や、不適切な環境下にいる子どもがまだ沢山いる。
 - ・愛情と理解というものは殆どの人にとって結果論で語られがち。
 - ・安心して生活するために愛されているという実感は大切だから。(他1件)
 - ・愛されていないと感じてしまう場面はまだまだ散見される。
 - ・家以外で相談できる場所が少ない。(他2件)
 - ・いじめや虐待などの被害に遭う子どもは後を絶たず、差別などの問題も依然として根深く残っているから。
 - ・残念なことに生存が脅かされ、命を失う子どもたちが川崎も含めているため。(他2件)
 - ・世界から見れば日本は安全な国だが、あらゆるところで戦争などの命の危険なことがおこっている。
 - ・障害を病理学的に見られていること、同僚が目前にいる障害者に配慮なく業務を行っていること。
 - ・地域によっては生活の基盤がしっかりしていない。
 - ・環境によってはかわいそうな人もいる。

2 ありのままの自分でいる権利

- ・家庭、習い事、学校、友達関係色々な事にはさまれている子ども達、本当にありのままにいられる時はどのくらいあるのか…。
- ・川崎をはじめ、日本では型にはめる教育や型にはまった生き方が良いものとされている気がするから。(他2件)
- ・大人の思いに、振りまわされてしまいがち。(他1件)
- ・「こうあるべき」という大人側の固定観念はまだまだ多い。(他1件)
- ・学校や環境によって大人の対応に差異がある。
- ・大人との生活の中ではどうしても抑圧されたり自己表現が出来ない場合もあるため。(他1件)
- ・若者世代に見られるヤングケアラー、親の意志で自分らしさが出せないことなどまだまだ解決されていないことが多くあると思います。(他1件)
- ・社会集団の中ではありのままにいたることの方が生きづらさを感じる子がいます。ありのままということは本質的に難しい。
- ・集団で行動することが求められる場面が多々ある。
- ・学校など集団生活をして行く中では、他の人との違いや個性を尊重しにくい状況だと思います。日本の教育方法や世の中のシステムを変えなければ、中々難しいことだと思います。(他2件)
- ・違いや個性を守ることは必要であるが、学校現場の中でそれを守ることで乱れる規律とのバランスが問題である。
- ・守られていない子どももいると感じる。児童養護施設等では特に「適切な行動」を強く求められる傾向がある。社会的な養護を受ける子どもへの関心が高まるとよい。(他1件)
- ・大人の良かれや社会の目によって動かされる日本人が多く、こどもが一人の人間であると認識され、自分のペースでほっとしたり遊んだりすることで成長していけるから。(他2件)
- ・保護者にもありのままの姿を否定されたり、受け入れられていないことも多い。詰めこみ療育も多く子ども自身がホッとできない環境になっているケースもある。
- ・ありのままにいたることにより、批判があつたりいじめにつながる生きづらい社会だと感じる。(他1件)
- ・どうしても人と比べられることが多いと思う。(他1件)
- ・まだ受け入れられない子どもの姿がある大人がいると思います。その子自身を受け止めてきていないからかその子の選択肢を奪う大人も少なからずいると思います。(他2件)
- ・とにかく日本では世間ていを気にして障害をかくす、必要な支援につながらない状況が多いと思います。必要な支援をうけながら楽に生きられたらよいです。
- ・現行の法律や判例では、子供に限らず、大人もありのままの自分を尊重されてはいないから。

- ・社会的になかなか理解が進んでいない現状があるのではないかな。
- ・違いを悪いと感じたり差別することが今もあるから。
- ・ジェンダー平等などの理解がない。
- ・学校など集団生活のなかで周りとう違うような子は変わった子として扱われてしまうと思うから。（他 2 件）
- ・子供にとって危険な場所が多いと感じるから。
- ・子ども同士は残酷なこともある。
- ・学校に行けず、家庭の中でも居場所のない子どもたちがいるため。（他 1 件）
- ・実際どこにいけばホッとできる所があるのか！大人でもわからない。
- ・家以外で相談できる場所が少ない。
- ・学校、公共の施設、家庭と顔が異なる子が多いから。
- ・定時制では生徒 1 人ひとりの背景が重たく、守られていないように思う。本人のせいなのか、周りの大人のせいなのか、わからない。
- ・あまり、守ってあげられていないように感じる。
- ・メディアを通して“理想の姿”を常に見続けさせられる現代において、同じくらいありのままでよい理想の姿(子・親・教師他)などない“情報も量的にふえるとよい
- ・他の人と違うことを個性と認められ、大切にされている児童もいるが、そうではない児童もいると感じる。
- ・未だにいじめ・虐待に関する悲しいニュースが減らない印象があるから。

3 自分を守り、守られる権利

- ・子どもの意見が大事にされていない場合もあると思うから。（他 2 件）
- ・守られずに不安をかかえるこどもが多すぎる。（他 2 件）
- ・永遠の課題として取り組み続けるべきことであるから。
- ・いじめ、虐待問題があるため。（他 24 件）
- ・しつと促えた関わりが虐待につながっているケースも多い。保護者が必死に子育てをしている、その支援が必要だと思います。
- ・いじめ、虐待は減少しているのでしょうか、大人がどれだけ介入できるか。
- ・虐待対応にもっと素早く対応できるとよい。
- ・家庭の問題は見える部分も多く、複雑であるため。
- ・家庭内のことは詳しくわからないが、子どもの態度、言葉づかいでわかる。（他 1 件）
- ・守っているつもりが、大人に都合の良いように子どもを動かしている、親の所有物的な考えをもつ大人が多いと感じる。
- ・虐待やネグレクト、ヤングケアラーの場合、家庭への介入が難しいため、守ってあげられる子どもがまだまだ少ないから。
- ・いじめ、虐待、体罰などを受けていても、周りに言える環境が整っているとは思えず、自殺や、虐待死も減っているとは言えないと思う。（他 9 件）
- ・子ども、大人問わず、残虐な事件があとを絶たない。
- ・いじめから逃げられる場所が大切だから。
- ・多くの家庭では守られているが、守られていない家庭があり、苦しんでいる子どもがいるから。
- ・児童相談所をはじめ、必要などころに資金や人材が足りていないせいで十分な援助がない。
- ・子どもへの虐待は、かなり多くあると思うが、事件にならないかぎり発覚しない。虐待されて育った子は虐待する親になると思う。（他 1 件）
- ・いじめ等がわかりづらい社会になっているため。（他 1 件）
- ・日本ではいじめ等、される側が恥ずかしいのだという風潮があり、被害者が周りに相談できず苦しんでしまうことが多いと感じるため。
- ・逃れたり、相談したりできる受け皿はあるが、“いじめをした者”こそ、指導されるべきではないでしょうか。
- ・いじめ、虐待、体罰を受けたと感じても、誰に、いつ、どのように相談して良いのか分からないことが多い。（他 2 件）
- ・いじめや虐待がなかなか減らないのは、相談できる環境が整っていないからなのではないか。（他 3 件）
- ・安心して相談できる大人が身近にいない児童がいる。
- ・相談できないことが多いと思うから。
- ・相談する環境が整っていたとしても、こどもがうまく言葉にできなかつたり、思いを表現しきれないこともあるので、守られているようで守られていないように感じている。（他 3 件）
- ・周りの大人に SOS を発信しても適切に処理されず、苦しんでいる子が沢山いるから。（他 1 件）
- ・そもそも SOS を出せない子が多いのでは。そこを見極め守るべき。
- ・いじめ問題に対し、大人側の対応「やりました」感が強く、子どもの望む解決につながっていない。
- ・守られていない子どももいると感じる。一般的に大人が子どもにかけられる言葉を聞いても「あなたはどうしたい？」「あなたはどう思う？」「何をしてほしい？」の問いが少ないと感じる。子どもに関することを決める時に子どもに聞くことが原則になるとよい。
- ・子どもの意見を重く受けとめない大人は本当に多いのではないかな。
- ・若者世代に見られるヤングケアラー、親の意志で自分らしさが出せないことなどまだまだ解決されていないことが多くあると思います。

- ・悲しいニュースが毎日のようにきこえてくるから（川崎市、というわけではないが）。（他 3 件）
- ・身近にひどい虐待があるわけではありませんが、ニュースなどでは、酷いこともおきています。大人のストレスのはけ口になることは、かわいそう。
- ・視野の狭さから自分の状況を客観的に判断できない子どもの特性と、そこに入りこみづらい世の中の体制。
- ・これまでの社会で注目されにくかった。
- ・子どもの学校などでも身近に聞く問題だから。
- ・学校の中だけでなく様々な場で見られるため。
- ・まだ、気がついていない問題はある。注意深く見ていきます。

4 自分を豊かにし、力づけられる権利

- ・適切な力づけを継続的に行うこと
- ・自己肯定感が高い子どもが増えてほしい。（他 2 件）
- ・1人で遊ぶことが増えているため。
- ・日常の中で、自信につながる活動が少ないと感じる。（他 1 件）
- ・親、学校など身近な大人が子どもに成功体験をさせられる場面が少ないと感じる。楽しめない。自信がない。
- ・励ましたり、力づけたりしていない大人がいるから。
- ・貧困、格差は、この権利を拒む。
- ・その子によりそえず、教員や親の主観で声をかけたり、決めたりしてしまう場合も多いから。（他 1 件）
- ・生まれた家によって、大きな差があると思います。（地域の教育力や家庭での家族の状況によってことなります。）（他 1 件）
- ・コロナもあり、子どもの活動が制限されていると思います。（他 3 件）
- ・子どもの時にしか体験できない、のびのびとした遊びの場や時間があまりにも少ないため。（他 1 件）
- ・のびのびと遊べる公園や施設が少なく、遊ぶ場所があっても周りからの否定的な意見を気にしなくてはいけない。なぜ楽しく遊んでいる子供達に「静かに遊んで」などを言わないといけないのか…。
- ・子どもが親や塾の講師に励まされ、力づけられるのは、いい高校、いい大学に行くためであり、子どもの実態から目を背けた大人が無理を強いて、抑圧しているから。
- ・いじめ、虐待などがなくなならない原因や、それらをされている見極めをするときに、励まされているかということはとても重要だと思うから。
- ・定時制では生徒 1 人ひとりの背景が重たく、守られていないように思う。本人のせいなのか、周りの大人のせいなのか、わからない。

5 自分で決める権利

- ・大人の都合で動かなくてはならない場面もある。全てを思うようにはしてあげられない。（他 1 件）
- ・十分に吟味して選択をする時間が与えられていなかったり、無意識のうちに多数派や発言力のある人の意見に収束することがあるから。
- ・大人の言葉の影響力はとても大きいと思う。自分で考えるという習慣や自分の考えを認められるという感覚を子どもの頃に多く身につけられるように、教育現場の考え方を変えていかなければならないと思う。
- ・親の保護監督という名目で、子供の意思が尊重されていない場面を多く見るから。（他 6 件）
- ・親と子供の意見や考えが一致しない事がある為。
- ・保護者の意思が尊重され、本人が決める文化がない。子ども 1 人に対する大人の割合も問題。囲い込んでいる現状がある。
- ・自分で決めたくても、親が許可してくれなかったり、自分の家庭環境が厳しく決めたくても決められなかったりしていると思う。
- ・子どもの生まれついた親、家庭などの環境により、決められる権利は元より、その選択肢さえ与えられない場合もあると考えます。（他 1 件）
- ・社会の中でまだ大人に決められてしまうことが多いと思う。（他 8 件）
- ・自分で決めたことでなく、大人に決められたことを守る=良い、という考えはまだ日本には多い。
- ・経済的に独立していない以上、枠の中（近くの大人の）での自由しかない。
- ・枠がある。そこからはずれると自由に選択出来るものも制限されることがある。
- ・大人、親のエゴでふりまわされている子もいる。
- ・家庭単位での育児場面において躰と信じて誤った方法で子どもと接している保護者への支援を保育、教育の現場で担っていけると良いと思っています。
- ・子が小さいほど、大人の主観やまだ難しいから、できないからと決めて、子どもの思いや気持ちを聞いたりより添う時間よりも、大人の都合や思いを優先してしまいがちになっている気がし、大人自身に余裕がない、頑張りすぎているところがある。親（特に母親に求められていることの世間の目）の頑張りや努力を求められる傾向がいろいろな場面で多すぎる。
- ・良かれと思って大人が誘導するので、自分で決めたように見せかけてることがほとんどかと。
- ・保護者や教員が行動を決定したり、ルールで縛っているように感じる。（他 1 件）
- ・そもそも大体の生活の場である学校が、子どもの権利について理解し守ろうとしているのかはなはだ疑問であるから。
- ・子どもの声に耳を傾けない大人がたくさんいると感じるため。（他 1 件）

- ・ある程度は仕方がないことと思うが、学校内では制約が多いことと、授業時間数増加のために、特別活動や児童会活動の時間がなかなかとれないことが多い。（他 1 件）
- ・自分のことを自分で決められる機会が少ないと思うから。（他 2 件）
- ・どこまで自分で決められるのか不確かだと感じるため。（他 1 件）
- ・自分で決める状況にない子どももいるのではないか。
- ・受け身である事が、子どもは多いと思う。（他 1 件）
- ・余計な情報もうのみにしがちなのでは。
- ・自分で決めるための情報が少ない。社会としても整っていない。（他 2 件）
- ・子どもがほしい情報を大人がすぐに教えられる環境を作る事が大切と考えている。
- ・施設では、ある程度のルールや決まり事があるが、それに納得のいかない子達の力のぶつける場所などが柔軟に対応できていないと感じる。
- ・校則等は「守るべきもの」になっていて、何故守らなければならないかといった議論を生徒と真直面にやろうとする大人や先生はいない。
- ・中学校の校則が厳しい学校とそうでない学校がある。校長の判断でなく子ども達で決められたらよい。
- ・自分で決める権利には、自己責任も必要。責任を取れないうちは、ある程度決めてあげることもつながる。
- ・子ども自身が、自分で何かを決めるためにはそれを手助けできる大人の存在が大切だと思う。大人でも、案外自分で決められないことがおおいので、様々なことに対応できる多くの情報が必要だし、個々に合った手助けが必要だと思います。（他 1 件）

6 参加する権利

- ・子どもが社会に向けて意見を言う場はまだまだ少ないと感じています。（他 5 件）
- ・参加する場が充分ではない（周知されていない）
- ・社会で活動は難しそう。
- ・子どもだからと言って、参加できないものがある。
- ・なかなか認めてもらえていないかも。
- ・日本人、外国人はどこでも生活を普通に行えているが、障害のある人々に対しての活動場所などが少なすぎる。
- ・子ども会議の場をもう少し拡大する雰囲気が必要かもしれない。もっともっと社会参加、参画意識を日常から取り入れていける仕組みづくりが必要だと思う。
- ・環境や能力で参加されるものが制限される。
- ・このご時世で、社会活動が制限されているから。
- ・今の状況では、子どもが主体的に活動するのは、難しいと思う。
- ・自分の意見を言ったりする機会があまりないと思うから。（他 1 件）
- ・参加できることを知らずに生活している子は多いと思う。また、意見を言ったところで変わらないという気持ちも大きいと思う。（他 1 件）
- ・守られていないというよりは、まだまだ浸透していないと思う。さまざまなアプローチで環境的には整ってきているのだろうが、日本人の気質や教育のあり方等の影響で積極的に参加することまでに至らない子が多いのでは、と感じる（他 1 件）
- ・学校の授業時間の長期化、習い事や親の就労時間の長期化など、あまり自由度はないと思う。
- ・参加することによって窓口が開かれていないように感じる。大人でさえ政治や社会のことを話したり、表現したりするのがタブーなイメージがある日本なので、子どもが参加するのは難しいと感じる。
- ・日本手話を否定されていること→ろう者は日本手話と日本語つまり二言語の世界で生きていくわけだから、日本語指導だけにしておくのではなく、ろう理解の一環として、日本手話をもっと研修して欲しい。
- ・まだ大人が中心の社会。（他 1 件）
- ・いじめが存在する限り、守られているとは思えない。
- ・上手く自分を表現できずにいる場面は子どもはもちろん多く、成長しても続くように感じる。
- ・子どもの意思是、子ども自身も理解できていないことも多く、大人の予測でしか参加の有無を確認できていないこともあるかと思うため。
- ・自らの力で、コミュニケーションやコミュニティに入る力が低下している子が多くなった。その子たちを支援する時間や所が少ない。（他 1 件）

7 個別の必要に応じて支援を受ける権利

- ・個別の支援が必要でも本人保護者が必要としない場合に、うまく支援することが難しい。（他 3 件）
- ・国の違いや宗教、保護者の考えによって守られてないように思う。
- ・思想・宗教・考え方の違いなどからその子に合わせては難しい。（他 1 件）
- ・まだまだ特別な目で見られ、偏見を持つ人も少数でいると思うため。
- ・他者との違いは、以前に比べ理解されるようになってはいるが、間違った理解・そもそも受けいられるような環境が作られていないため。
- ・まだ国籍や障がいの有無等による差別や偏見がたくさんあると思うから。（他 3 件）
- ・なかなか差別はなくならない、また障害などでも周りの理解がまだまだ足りない所はあると思う。（他 2 件）

- ・社会に参加する機会をあまり見かけない(特に障害を持つ子ども)。(他 1 件)
- ・まだまだ偏見や差別がなくなっていないと感じる。(他 4 件)
- ・生まれてくる場所によって差別されるのはおかしいから。
- ・家庭環境などにもより、十分支援を受けられていないと感じる。
- ・日本人の弱い部分、平等でない社会がまだまだある。
- ・制度、施設、設備、予算人員が足りない。
- ・国の違いはどれだけ守られているか、“郷に入ったら郷に・・・”の考え方が日本は強い。
- ・まだまだ社会の中で“集団で生活する”というのが保育園、幼稚園、小学校などでは大事とされている気がするため。
- ・1人1人に応じた学校での学びの場がもっときめこまやかなになるとよい。
- ・学校場面では支援が充実しているとは考えづらい状況です。
- ・個別に支援するためには、環境や人的配置が必要である。学校現場では人員が不足し、きめ細やかに対応できていない状況も見られる。(他 4 件)
- ・ひとりひとりに合わせるというのは簡単ではなく、対応する職員の専門性と十分な体制(人数)が必要です。簡単ではありませんが、後回しにせず対策を講じて進めてほしいです。(他 4 件)
- ・支援者の数が足りておらず、支援が必要なのに見過ごされている子もいると思う。(他 1 件)
- ・支えなくても支える人に理解とマンパワーがたりない。
- ・個別最適な学びを意識した教員、時代の変化に対応した教員育成が必要。気づきが足りない。一斉指導で取りこぼされた対象への学びの保障も確実にあるわけでもない。もっと生活環境などの身近な場所に1人1人を認めるコミュニティが必要。
- ・支援そのものを子どもが知らない、大人の手もたりない。
- ・手助けはまだ十分とはいえないと思う。(他 6 件)
- ・国の違いや障害で差別されず支えられる社会の仕組みがそこまでできているとは思えない。一部では、できているのかもしれないが、当事者になってみたら、仕組みは不十分だと感じます。(他 3 件)
- ・支援の制度が整っていなかったり、制度を知らなかったり、差別がなくならなかったりとまだ守られていないと思う。
- ・個別の支援の必要性について、サービスの拡充が必要だと思うから。
- ・知能や身体の障がい、心の病気などがかかえている方々に対し福祉が不十分。
- ・障がい児保育や医療的ケア児の保育、課題が多くあると感じる。
- ・生活保護や保護者に障害のある家庭への支援制度が乏しい、厳しい。生活保護世帯が医療を即座に受診できない制度は改善すべき。
- ・国の違いや障がい者へのケアはまだまだ一般の人には浸透していないように思うから。(他 2 件)
- ・福祉資源の情報が万人に知らされているわけではなく支援を受ける人とそうでない人で開きがある。
- ・障害のある子や気になる子へのサポート体制は未だ不十分だと感じる。サポートを受けたいと思っても、繋がるまでにとっても時間がかかると感じる。
- ・交流する場への移行がうまくいかなかったり、子どもに合った環境を紹介できているか、と問われるとそうではないように感じる。それぞれの場が増えることも必要だが、仲介する人的要員も足りていないと思う。
- ・「多様性」「ダイバーシティ」うたわれてはいても実際はまだまだな部分多く長期的な我が国の課題なのではと感じる。(他 1 件)
- ・子どもファースト合理的配慮がなされていないと思う(就学や医療サービス利用の制限など)。
- ・ヤングケアラーなど関心を持つべき。
- ・全体的に、年々意識され、改善されているように思います。
- ・差別はありませんが、大人として、個別で配慮できているかは分かりません。子ども同士の遠慮ない声かけの方がよっぽど壁を感じない。(他 1 件)
- ・自分が必要だと感じた時に思い通りにならないことがある。
- ・その子どもにあわせてがあいまい。

1～7の区別のない意見

- ・今の所全てだと思う。川崎市に限らず、日本の世の中全体を見ても成育、教育問題は山積。毎日ニュースで子どもがらみの悲しい事件を目にします。子どもの健やかな育ちは大人たちの心身の健全さによりますので、育児者(親、特に母)や保育者の心のケアが必要不可欠です。子ども中心にスポットを当てるよりも、上記の大人たちのケア、相談場、支援にまず注力すべきと考えます。
- ・全く守られていない訳ではないと思います。ただ、子どもたち自身がこの条例を分かってない様な気がします。自分もそうですが、親たちも『子どもにも権利がある事』を知らない方が沢山いると思います。子供に携わる仕事をしているからこそ知った部分もあるので。

II 『あなたの職場の子どもの生活』についてお聞きします。

Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる大人が少なくとも一人はいると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 そう思う	115	30.1%
2 だいたいそう思う	236	61.8%
3 ほとんどそう思わない	23	6.0%
4 そう思わない	5	1.3%
無回答	3	0.8%
合計	382	100.0%

Q6 子どもには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 あると思う	58	15.2%
2 だいたいあると思う	246	64.4%
3 ほとんどないと思う	73	19.1%
4 ないと思う	4	1.0%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q7 あなたは普段子どもと関わったり、支援するときに、子どもの権利や条例の内容を意識して関わっていますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 意識している	188	49.2%
2 少し意識している	136	35.6%
3 あまり意識していない	51	13.4%
4 意識していない	6	1.6%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q8 Q7において「1 意識している」「2 少し意識している」を選んだ人にお聞きします。具体的にどのようなことを意識していますか。

- ・その子の全てをしっかりとみつめて接する
- ・こどもにとって大切な内容だから (他4件)
- ・園児全員の名前を覚えている。親からも常に話しかけられやすい雰囲気を作っている
- ・社会に出た時に、よりよく生きる為には、その子に何が必要なのかを常に考えているからです。
- ・人に迷惑をかけない。いじめは絶対許さないなど学級経営にとり入れている。
- ・相談する場所は他にも色々あるということ
- ・子どもの権利ノートなどを活用。
- ・権利や条例の内容に関わらず、人として大切にしなければならないことを意識している (他5件)
- ・何かあれば国や自治体が守ってくれると信じている
- ・権利だけでなく、その子にとっての最善の利益は何なのかを考えエンパワメントするよう関わっている。(他11件)
- ・なるべく子どもの背景を考え対応する (他1件)
- ・個性を大切にしている。(他11名)
- ・子どもの表現を大切に。やりたいことはできるだけ応援する。成長しようとする子に、励まし、応援できるようにしている。相談しやすいよう、個々との会話も意識している。(他4件)
- ・職場内研修を行なう機会があり、自分自身の子どもへの関わり方の振り返りとなっている。(他9件)
- ・子どもの思いを丁寧に聞く、これからのことを考えて一緒に解決策を導き出す (他56件)
- ・普段からコミュニケーションをとり、顔色・態度に変化があれば声かけをする。(他5件)
- ・なるべく1人ひとりの個性を尊重して外国籍の子や、障がいを持った子など、皆が楽しくすごせるようにする (他4件)
- ・声のかけ方や子どもの気持ちを聞くことを意識している (他39件)
- ・個々の発達や成長を保護者と一緒に見守り、楽しく過ごせる場である様意識している。(他2件)
- ・子どもに寄り添う気持ちをもつよう努めている。(他15名)
- ・一人の人間として尊重した関わりをしている (他94件)
- ・遊んだり学んだり活動したりする中で、成長や自信につながるように励まされ、力づける。(他3件)
- ・こどもの主体性を考える (他28件)
- ・愛情をもって関わるようにしている (他4件)
- ・子供達がホッと出来る居場所作り。(他3件)
- ・オムツ交換や身体測定をする際、まわりの人に見られないように気を付けている。(施設関係)
- ・子どもが安心して過ごせるように意識している (他32件)

- ・個別に対応が必要な子どもには、学校や家庭、関係機関と連携を取りながら、支援策を探っていくようにしている。（他 2 件）
- ・公平・公正等、平等に接すること、片寄りなく接することができるように心がけている（他 12 件）

Q 9 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受け止めること）ができていますか。（○は 1 つ）

	件数	%
1 できている	74	19.4%
2 だいたいできている	283	74.1%
3 ほとんどできていない	15	3.9%
4 できていない	2	0.5%
無回答	8	2.1%
合計	382	100.0%

Q10 Q 9において、「1 できている」「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。子どもの気持ちや意見の聴き方についての具体例や、工夫していることは何ですか。

- ・年齢に合わせた言葉でわかりやすく話したり、状況に合わせて時間をかけ丁寧に対応することを心がけている
- ・多数の子どもが同時に対応を求めてきた時にすぐに対応できない児に対しても、「次にきくから待っててね」等。見通しをもたせた上で必ず対応する
- ・様々な手立てをとりながら子どもたちの思い、やりがいを大きくしている。・すぐに聞く（他 3 件）
- ・子どもと関わる時間の中で自由会話場面を設けている
- ・なるべく全員に聞く
- ・できているかどうか職場で、お互いにふりかえる場を会議等で設けている（他 1 件）
- ・自分自身の体調をととのえ心の余裕をもち子どもたちと接する。（他 3 件）
- ・1対1になれる環境でゆったり聞くようにしている（他 22 件）
- ・日頃の関わり方（他 2 件）
- ・子どもの思いをくみとる努力をしている（他 10 件）
- ・教育相談の研修を実施
- ・嬉しいことや辛いことも話せる関係作りをしている（他 12 件）
- ・子どもの立場にたって、視線を合わせながら聞く、共感することも大事である（他 8 件）
- ・個別対応や場所の工夫、話しやすい雰囲気づくり（他 29 件）
- ・自分の意見が言いづらい子供に対しては、選択肢の中から選べるようにしている。（他 4 件）
- ・子どもが決める。こちらは提案をする。（他 2 件）
- ・視線が合うように姿勢を低くする（他 31 件）
- ・本人がどうしたいのかを聞くようにしている。（他 7 件）
- ・直接「方法」について話し合う・選択肢を設ける（他 6 件）
- ・子供の声で話を聞くようにしている。Yes No で答える質問ではなく、子供が思いをのせて答えることが大切だと思っています。（他 9 件）
- ・どう思ったのか質問するようにしている。（他 17 件）
- ・日ごろからよく声をかける（他 18 件）
- ・子どもの話を第一に聞くようにしている（他 72 件）
- ・日頃から子どもの様子を観察し些細な変化も見逃さないように気をつけている（他 18 件）
- ・こちらからの問いかけに対する子どもたちの反応は、大切にしたいと心がけています。（他 1 件）
- ・子どもの意見を尊重するように意識しています。（他 3 件）
- ・子どもが訴えてきた時に子どもの気持ちにそうように話をきいて対応している（他 14 件）
- ・子どもが伝えやすいように共感するようにしている（他 17 件）
- ・忙しいとおざなりになってしまっていることもあると思うが、思いをしっかり受けとめようとしている。（他 15 件）
- ・子どもの気持ちを決めつけず、子どもの気持ちをしっかり聞くよう意識している。（他 9 件）
- ・子どもの気持ちに寄り添うようにし、否定しないようにしている（他 20 件）
- ・待つ、子どもが意見をまとめるのをせかささない（他 14 件）
- ・途中でさえぎらないように、まずは最後まで話をきくようにしている（他 15 件）
- ・その場で流さず、丁寧に説明するなど理由も含めてきちんと聞き、傾聴を心がけている（他 22 件）

Q11 Q 9において、「3 ほとんどできていない」「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	件数	%
1 子どもの話を聞く時間を取ることができないから	7	41.2%
2 子どもが自分の気持ちや意見を言うことが少ないから	5	29.4%
3 聞くよりも子どもに伝えることのほうが多いから	2	11.8%
4 どのように聞いたり受けとめたりするとよいかわからないから	3	17.6%
5 その他	2	11.8%

（無回答=2、N 値=17）

【その他】

- ・子どもが自由に自分の気持ちを伝えられる環境ができていない。
- ・そもそも大人が「できている」「できていない」と決めることではないから。そう思うと「できている」と勝手に決める方が怖いので「できていない」よりになりたい。

Q12 あなたの職場では、子どもに関わること（運営方針、授業・保育内容、行事等）を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 聞いている	79	20.7%
2 だいたい聞いている	213	55.8%
3 ほとんど聞くことができていない	60	15.7%
4 聞くことができていない	8	2.1%
5 わからない	18	4.7%
無回答	4	1.0%
合計	382	100.0%

Q13 Q12において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができていますか。（〇は1つ）

	件数	%
1 できている	33	11.3%
2 だいたいできている	243	83.2%
3 ほとんどできていない	12	4.1%
4 できていない	1	0.3%
無回答	3	1.0%
合計	292	100.0%

Q14 Q13において、「1 できている」または「2 だいたいできている」を選んだ人にお聞きします。できたことで印象に残っていることは何ですか。

- ・ こども文化センターでの、部屋の交代の仕方をこども達主体の会議を開催し、こども達で決めてもらったこと。
- ・ 子どものやりたい事をプログラム化することで参加する権利を獲得できるようにしている（他1件）
- ・ 本人の希望にそって、現実場面も設定できたので、虐待ケースであったが家にかえすことができた。
- ・ 子どもの意見を出す場を作り、そこから出た意見を元に、児童館内のルールを導き出したこと。
- ・ 失敗も成功も自分で考えて決めてやったことには納得している様子
- ・ キッズリーダーとの話し合い、スタッフ会議で、子どもの希望にそう様に内容を決めているが、最終的に達成感が持てる様配慮しています。
- ・ リクエスト献立や調理保育などで子どもの要望に応える
- ・ 年長児中心にはなるが話し合いを持ち子どもたちの意見を取り入れてすすめている（他2件）
- ・ 赤ちゃんでもしてもいいかな?どうする?どうする?と問いかけると応じている小さい頃から子どもの意見を尊重することはとても大切
- ・ 雨の日にクイズ大会をやりたいといわれて実施。
- ・ 学年レクや遠足等のイベントなど（他2件）
- ・ 意見箱を設置して、やりたいことや、欲しい物、遊びたいものを聞いて可能な限り実施したところ、「また遊びに来たい」と言ってくれました（他3件）
- ・ たてわり保育などでは5才児がリーダーになり3 - 4才をリードしている
- ・ お散歩であそぶ場所や、あそびを子どもの意見を取り入れる。（他14件）
- ・ 商店街の祭りで、こども発信のカフェを運営した。（他1件）
- ・ 夏まつりごっこで「たこやきをやりたい」となり、材料を揃えて一緒に作ったところ「もっと作りたい」「もっとやりたい」と盛りあがった。
- ・ e スポーツゲームを開催した事です。大きなスクリーンで家では味わえないか迫力や周りのお友達の反応を見たり聞いたりいつも特定の子と遊ばない児童も学年の違う子同士が会話したりと子供達が一番やってみたい事が出来ていたと思います。
- ・ 映画会をする際、3つの選択肢を挙げシールを貼って投票制にしている。
- ・ 生徒会活動の中で、「より良い学校にするには？」というテーマで子ども達より意見を出し合った。（他4件）
- ・ 児童会活動の中で、子どもたちが考えた企画が全校で取り組んでいることがいくつもある。（他2件）
- ・ 特別支援学校の場合は、発信の弱い子どもが多いけれど、写真や絵カードを選ばせたり、ipadを使って説明したり、個々に応じてより適した発信を促しています。
- ・ 委員会活動をはじめの時に、めあてを相談して決めたところ。その後はめあてを意識しながらほぼ子ども達だけで活動をすすめることができた。
- ・ 校則について見直しがおこなわれ始めていること。（他7件）
- ・ あいさつ運動へのとりくみ

- ・進路は本人の希望を尊重
- ・新しい委員会や、クラブの立ち上げ。(他 2 件)
- ・子どものすべての考えを実現するのではなく、課題やよさも伝え、導く必要がある。現在では支援が広まりすぎ、指導の必要性(大切さ)も改めるべき
- ・学校の教育方針の根幹にあることなのですべての学校活動においてこれを実施している (他 24 件)
- ・学級目標をみんなの意見を集めてつくったとき、一丸となって喜んでた。(他 5 件)
- ・学級の係活動で、自分がやってみたい係に希望通りになれるようにしている。(他 2 件)
- ・文化的行事など、子どもの意見がとり入れられていると感じる (他 3 件)
- ・行事運営のほぼすべてを子ども主体で行っていること。(他 80 件)
- ・新 1 年生歓迎会をするにあたり、全員の意見で、校庭遊びのやり方を教えつつ、各自が得意な遊びを発表した。
- ・運動会で子どもたちが行う競技内容のやり方やルールについて子どもたちと相談し、子どもが提案したやり方で実際に行った。(他 13 件)
- ・共同作品を作る時のテーマや工夫 (他 2 件)
- ・ワークシートの作り方、書く量について
- ・企業との協力で子どもの考えた事が実現したこと。
- ・ならいごとの選択、係活動の変更(学校関係)
- ・学習で使う言葉に子ども達で手話表現を決めたこと
- ・授業の進め方(学習計画)は子どもと一っしょに決めている (他 14 件)

Q15 Q13において、「3 ほとんどできていない」または「4 できていない」を選んだ人にお聞きします。できていない理由は何ですか。

- ・職員同士、そのことについて話をしたくても、なかなか時間を確保できない。(他 1 件)
- ・こどもの会議やアンケートを用いて、こどもの思いや考えをきくようにしているが、全員で外出や大がかりな動きをとろうとなると、職員の手が足りなかったり、子どもにとって楽しさにつながるようなケアがしきれないことが要因で、ほとんど叶えられていないのが現状である。
- ・世の中が決めた慣習や、大人の価値観に当てはめなければいけないから。(他 1 件)
- ・コロナ禍になり、行事の中止も相次ぎ、子ども達がやりたいことが出来ないことが増えた。(他 1 件)
- ・子どもの意見を反映させるには、親の考え方の変化が必要になる場合があるため。
- ・予算の問題など。
- ・実際は「あまりできていない」というのが適当。授業の進め方などは子どもの声を反映させられるが、進度については、ある程度無理をしないと学習すべき範囲を終わらせることができない。授業内で十分理解できなかった生徒には補習を行うこともあるが、それでも「全員が十分理解した状態で先へ進む」というのは非常に難しい。
- ・授業や行事の飾りなどは意見を反映できるが反映しきれないものも多い。学年間をまたがると特に準備期間が足りない
- ・衝突する意見を反映させるのは難しい。(他 1 件)
- ・ならいごとの選択、係活動の変更(学校関係)
- ・子どもの思いは幼い利己的な短絡的な意見も多く、みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校づくりにそぐわないことが多いから。権利をまっとうに主張できるほど権利について知らないのに、個人的なわがままを権利として主張してしまう子どもが多いため、論点がずれてしまう。
- ・その内容によって様々な判断が必要であると考えている。その時の状況に応じて対応することが大事（ベターやベストをできるだけ選択したい）と考えているため。

Q16 あなたの職場では、子どもが悩んだりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。

	件数	%
1 ある	212	55.5%
2 ない	75	19.6%
3 わからない	88	23.0%
無回答	7	1.8%
合計	382	100.0%

【「わからない」理由】

- ・あるがなかなか言いづらそう
- ・乳幼児を対象とした職場なので、子どもの困り感に職員が支援していくため。(他 3 件)
- ・未就学児のため、本人が解決するまでいたっていない。(他 4 件)
- ・障害を抱えた子どもたちには自ら解決に向けて動き出すこと自体が難しい。(他 1 件)
- ・障害への理解のある職員が少ない。また障害への理解のあるカウンセラーの不在。
- ・子ども自身が解決ということが具体的にイメージできません。

- ・職場の人とそういった話をしていないため。
- ・教育相談の実施など、続けてきた仕組みはあるが、子どもの困り感を聞くことができて、保護者の理解が得られず結局解決には至らないことが多いから。
- ・学校、家庭と連携することはあるが子どもの自身が解決に向けて動きだす仕組みといえないこと。
- ・時と場合、内容によります。
- ・入口部分をマンパワーに頼りきっているから。
- ・実際に悩んでいる場面にあったことがない。（他 2 件）
- ・具体的に思いつかない。（他 2 件）
- ・解決に向けての十分な取り組みが具体的にどういったものなのか分からないから。
- ・仕組といわれるとわからない。（他 5 件）
- ・仕組みまでとはいかないから。（他 4 件）

Q17 Q16において、「1 ある」を選んだ人にお聞きします。あなたの職場で設けられている仕組みを教えてください。

- ・担任が悩みを聞く。子ども同士で話し合う。クラス全体で（他 16 件）
- ・担任との日記交換（他 1 件）
- ・子どもの話を聞いて必要な手段をとっていく（他 22 件）
- ・子どもの権利ノート（他 1 件）
- ・子どもの行動から読み取った上で面談、ケア会議、第三者委員会、関係機関につなげる様々な支援（他 10 件）
- ・アンケートを行っている。その結果からききとりをしている。（他 17 件）
- ・「あのね」とか「どうして」といったような子どもたちからの意見や相談を受け付けられるポストを用意設置しておりそこに入ってきたものへの回答を掲示してそこからこも自身が考え答えを出し前へ進めるようにしている。（他 26 件）
- ・相談できる所がある。（他 2 件）
- ・カウンセラーとの相談ができる。（他 32 件）
- ・支援コーディネーターに相談して進めている。（他 23 件）
- ・相談できる人がいることを紹介している（他 7 件）
- ・クラス以外の職員に相談するのもよい
- ・「イエローカード」という苦情解決の仕組みがある。施設の職員か第三者に解決してもらいたいか選ぶことも出来る。
- ・仕組みというより、考えられる余裕を持つ様に接したり、周りの職員のサポートを使って対応したりしている。
- ・教育相談アンケートを実施し、教育相談を行います。（他 8 件）
- ・わからない時に聞けるような環境づくりをしています。（他 7 件）
- ・毎週ミーティングがあり、子どもの悩み事、困り事をみんなで共有し、解決に向けて話し合っている。
- ・学校との連絡や相談など連携している（他 17 件）
- ・職員間での共有できる雰囲気（他 12 件）
- ・児童相談所につなげている。（他 2 件）
- ・通級指導教室で積極的にセルフアドボカシーについて話して、SOSを出す大切さについて実践を通して学べるようにしている。
- ・生徒会を通じて、学校全体の問題としてとらえられる機会がある

Q18 川崎市には次のような相談を受けてくれるところがありますが、知っているものは何ですか。（知っているものすべてに○）

	件数	%
1 保健福祉センター（地域まもり支援センター）	282	73.8%
2 児童相談所	366	95.8%
3 児童・青少年電話相談	199	52.1%
4 児童虐待防止センター	160	41.9%
5 民生委員・主任児童委員	257	67.3%
6 スクールカウンセラー	315	82.5%
7 総合教育センター	242	63.4%
8 24時間子供 SOS 電話相談	220	57.6%
9 教育委員会の教育相談室	158	41.4%
10 電話相談ホットライン（体罰など）	189	49.5%
11 インターネット問題相談窓口	95	24.9%
12 やまびこ相談	13	3.4%
13 かわさき若者サポートステーション	41	10.7%
14 人権オンブズパーソン	235	61.5%
15 川崎いのちの電話	266	69.6%
16 かわさきチャイルドライン	218	57.1%
17 子どもの人権 110 番	250	65.4%
18 神奈川県弁護士会 子どもの人権相談	31	8.1%
19 知っているものはない	0	0.0%

（無回答=6、N 値=382）

Q19 あなたの職場で子どもを支援する際、関係機関や地域団体と協働・連携して行うことがありますか。具体例や理由を含めて教えてください。（〇は1つ）

	件数	%
1 ある	275	72.0%
2 だいたいある	56	14.7%
3 ほとんどない	13	3.4%
4 ない	11	2.9%
無回答	27	7.1%
合計	382	100.0%

【「ある」具体例】

- ・PTAの方々との連携
- ・連携支援の会議などがある（他22件）
- ・カウンセラー（他3件）
- ・小学校や中学校との交流・連携（他11件）
- ・川崎市子ども会議
- ・キッズサポート
- ・子供の困り感によりそう為（他2件）
- ・虐待の疑いなど（他11件）
- ・総合教育センターとの就学に向けて相談支援（他3件）
- ・困難な家庭を区役所の担当が支援に行ってくれている（他1件）
- ・地域（他1件）
- ・支援教育コーディネーターを通して相談できる体制（他2件）
- ・寺子屋（他1件）
- ・児童相談所はすぐに連携をとれるようにしている（他54件）
- ・デイサービス等
- ・情報交換をしたり、関係機関と連携を図っている（他12件）
- ・自立支援
- ・総合教育センターに相談窓口をつなぐ場合がある
- ・状況の整理や支援の方針をこども家庭センターと協働して決めた。（他1件）
- ・子ども支援のため常に関係機関と連携して取り組んでいます（他55件）

- ・カフェ（校内呼称）としてお菓子やジュースなどを用意し生徒の居場所を確保している（毎週月曜）
- ・講師として、音楽の元教員や、地域の日本舞踊の先生を御願ひしている。ATLの派遣のしていただいている。（他1件）
- ・NPO法人のフリースペースたまりばと、集団支援活動や個別支援活動などで連携している。
- ・精神科、心療内科と連携して、摂食障害やメンタルな病気のケアをしている。（他2件）
- ・児童支援家庭センター。不登校児童の対応（他2件）
- ・地域保育園・幼稚園（他1件）
- ・発達障害がある生徒について（他2件）
- ・保健師との連携により、園内では把握できない情報を得る事で子どもの背景を知り、支援している。療育関係では園に見に来てもらう事でアドバイスをもらい、より良い支援につなげている。（他6件）
- ・子どもの心身の安全の為、児相やみまもりセンターと連携（他7件）
- ・民生委員が積極的にかかわってくださっている（他3件）
- ・わくわくプラザ
- ・地域療育センター。発達支援を要する子への対応を学んだり・相談する。（他29件）
- ・スクールソーシャルワーカーと連携して、支援を行なってもらっている。（他6件）

【「だいたいある」具体例】

- ・学校内では子どものことをよく見て、指導することが出来るが、学校外となると、地域の方々などの力も必要となる。普段からの電話でのやり取りなど、些細なことでも連絡し合うようにしている。
- ・私学修学支援センター
- ・日々の報告や定期れんらく会がある（他2件）
- ・療育センター、保健所、地域の老人施設など（他12件）
- ・児相、カウンセラー（他9件）
- ・父母会（一緒に子どもの成長を考える）、消防署（幼年消防クラブ）
- ・療育センター等（他6件）
- ・企業と連携いして、子どもたちの意見をとり入れ形にするときくみ

- ・区の「地域見守り隊」との連携。不登校気味になっていたが、見守り隊の方々子どもを自宅まで迎えに行ってください、登校に繋げてくださったり、家庭内の家事なども必要に応じて行なってくださる。また学校との連絡調整をしてくださるのがありがたいです。
- ・講習会など
- ・防犯教室、剣術鑑賞（ボランティアで無償）パルーン協室
- ・支援が必要な子どもには療育センターなどと連絡をとりあう（他5件）
- ・虐待があった場合に関係機関との連携を取っていただいたり、児童相談所とも関わりがあったりするため（他3件）
- ・家庭内の問題に関して児童相談所と連携。（他1件）

【「ほとんどない」理由】

- ・任意の利用なので継続的な支援が難しい（少ない）ため。
- ・連携の仕方が難しい。
- ・今のところそこまでの事例がない。（他4件）
- ・私学のため。

- ・閉鎖的な施設のため。
- ・ほとんどのケースがスクールカウンセラーとの対応で収まっているため。

【「ない」と回答した理由】

- ・そこまでの事例がない(知らない)。(他7件)
- ・あまり、活動が具体的に見えない。

Q20 あなたの職場では、子どもが自分の権利を学ぶ機会がありますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 ある	119	31.2%
2 だいたいある	124	32.5%
3 ほとんどない	113	29.6%
4 ない	25	6.5%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q21 あなたの職場では、あなたが子どもの権利を学ぶ機会がありますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 ある	185	48.4%
2 だいたいある	117	30.6%
3 ほとんどない	73	19.1%
4 ない	5	1.3%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

Q22 あなたの職場では、文化・国籍等の違い、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。(〇は1つ)

	件数	%
1 思う	375	98.2%
2 思わない	5	1.3%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

Q23 あなたの職場において、子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長できる子どもの権利を保障していく上で、課題として感じていることがありましたら、具体的に書いてください。

- ・既存事項としてやるべき事と一人ひとりへの配慮のバランスが難しい。
- ・あまりに大勢の子どもの中、障害のある粗暴行為の多い児童に気をつけなくてはならず、他児にとってもその児童みとって環境がよくないので何とかしていきたい。
- ・保護者の背景が様々で状況が日々変化していくが、公立の施設よして最大限利用してもらい、お子さんをあずかっている時間だけでも、子ども達が安心して安全に生活できる場でありたい。常に子どもの見方でありたい。
- ・不登校の子どもたちに対する支援に学校として限界を感じる。学校に来てくれれば様々な対応が可能になるが、学校に足が向かない状況の子どもたちへのアプローチが少ない。
- ・卒業後子どもに合わせた支援の体制がとれるのか不安に思っている
- ・精神科の病院には、いつも予約でいっぱい、かなり先にならないと予約ができない。特性がある生徒だから、予約しても行くことができないこともある。そうするとまた数ヶ月先の予約でそのうち予約もしなくなる。
- ・コロナのせいで以前より、子どもが自由に行動できる場面がへった。かかわりがうすくなってきた気がする(他3件)
- ・外国籍の子どもが受け入れられる中で、言葉の壁があることから、上手くコミュニケーションが取れないことがあるが、翻訳機を使う程度で対策がなされていない(他6件)
- ・教職員の中には、子どもの権利について意識が十分にない者がいる。
- ・高校の入試選抜においては、特に私学の推薦等において違いを認められない状況があり、中学校の指導もその対応が求められる状況がある。このことを課題と感じる。
- ・児童虐待などから子どもを守りたい ・施設に来ない子どもをどうサポートするか
- ・社会に参加する機会が少ない(他1件) ・子どもによる自治的な活動の機会が少ない。(他9件)
- ・子どもの権利を保障する中で「自分らしく」「個性」というのは、どこまでがゆるされ、どこからが、ルールやマナーとして指導していくのが難しい。現代のニーズに合せるのか、これまで通りなのか課題と感じています。(他2件)

- ・まだ自分たちから発信できない年齢なのでどれだけ大人が代弁したり、気持ちをくにとつてあげられるかが課題だと思う。（他 2 件）
- ・こどもの思いを聞く機会を担保することの難しさ（他 6 件）
- ・家庭との連携（他 12 件）
- ・大人が互いに尊重し合う社会になれば、子供も互いを尊重し合い、権利も意識しなくても保障される社会になると思う。（他 13 件）
- ・やるべきことやらなければならぬことに追われ、子どもにじっくり向き合えない（他 5 件）
- ・子ども自身が権利について学ぶ機会はない。（他 10 件）
- ・今までの教育による思い込みや当たり前を払拭すること。（他 1 件）
- ・まず、子ども自身に知識がない。だから友だちを意識せず生活したり傷つけてしまったりする。また、大人も意識が低い。職員同士も相手を思いやって発言したり、行動したりが少ないと感じる研修等もやってみるが、人間性に基づいているのが人権感覚なので改善できるかは難しいと感じる（他 12 件）
- ・権利の保障を職員が振り返る機会が少ない。いまだに子どもを呼びすてにしたり威圧でせかしたり、行動を強制する職員がいる。呼びすて以外はある程度必要な場合も認めるが、常に“もっと上手い誘導や声かけの仕方”を工夫する振り返りを促すシステムが必要（他 1 件）
- ・体格が大きくなったり力が強くなる生徒を守りきれないと感じる場面がある
- ・権利があることを知りながら実際に動くことが難しいように思える。
- ・障がい児（配慮が必要な子）への支援に関しては、机の上での知識はあるが、具体的な支援方法が分からず意図せず無理をさせてしまっていることがあるように思う。
- ・学校現場だけでなく、地域社会（保護者や成人）に「子ども権利」のことを浸透できる場所づくりを行なえるとよいかと思えます（他 2 件）
- ・もうすこし地域との関わりが良いなと感じています。（他 2 件）
- ・多目的トイレがない
- ・全て経済力が大切だと考えます。（他 16 件）
- ・機会や環境の充実（他 6 件）
- ・家庭が協力的でなかったり、環境が整っていない家庭があること。（他 28 件）
- ・日々の忙しさの中で、なかなか意識して取り組めてはいないと思う。子ども達には、何となく伝えている感じではあるが、改めて取り組む機会はなかなか持てていない。（他 2 件）
- ・人権の意識を職員が共通理解していく必要がある。人権週間の取りくみの充実（他 23 件）
- ・LGBTQの生徒への対応が追いついていないと感じる。
- ・集団保育であることで簡単に無視されたり、なんとかそれを知ろう認めようとするためにできることはないかという創意工夫は、ほとんど見られない（他 1 件）
- ・他の子に暴力的な子にどうやって平和に生きていくかを伝えて行動に移す所。ありのままの前提として平和がはげればいけないというところ
- ・保障してあげたくてもできない人員配置（他 24 件）

Ⅲ 『あなたの思い』についてお聞きします。

Q24 あなたは、自分が好きですか。（○は1つ）

	件数	%
1 好き	114	29.8%
2 だいたい好き	209	54.7%
3 あまり好きではない	51	13.4%
4 好きではない	8	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%

Q25 あなたは、周りの人から大切にされていると思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 感じる	132	34.6%
2 だいたい感じる	214	56.0%
3 あまり感じない	33	8.6%
4 感じない	2	0.5%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q26 あなたは、毎日が楽しいですか。

	件数	%
1 楽しい	96	25.1%
2 だいたい楽しい	230	60.2%
3 あまり楽しくない	51	13.4%
4 楽しくない	4	1.0%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q27 あなたは、仕事上の悩みがありますか。（○は1つ）

	件数	%
1 ある	135	35.3%
2 ときどきある	198	51.8%
3 あまりない	41	10.7%
4 ない	7	1.8%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

Q28 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せる人が少なくとも一人はいますか。（○は1つ）

	件数	%
1 いる	355	92.9%
2 いない	27	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%

Q29 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。（○は1つ）

	件数	%
1 したいと思う	322	84.3%
2 したいけどできない	25	6.5%
3 したいと思わない	34	8.9%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

【「したくてもできない」理由】

- ・時間がなく相手もおもいあたらない。（他2件）
- ・心を許せるほど話ができる人がいない。（他1件）
- ・その人が遠方において、家庭が複雑で、相談したい時にタイミングよく連絡できないから。
- ・誰が誰とつながっているか…心からのゆだねができない。（他1件）
- ・相手の事情なども考え、相談するタイミングがとりにくい。（他2件）
- ・自分でまだ解決できる問題であるため。
- ・悩み困り事が複合すぎて、どこから話して良いか戸惑う。
- ・人に相談できる内容の悩みではない。
- ・弱音を吐いたらどんどんダメになっていく気がするから。

【「したいと思わない」理由】

- ・相談したい程、困ったり悩んだりしていない。（他2件）
- ・自分しか自分の事は守れないから。
- ・自分のことは自分で決める。人にたよらない。（他7件）
- ・どうせ解決しない。（他4件）
- ・悩みの原因は自分の中にある、とわかっているので、話そうと思わない。
- ・あまり自分の困りごとや悩みごとを周りの人に話したくなることはないが、友人と遊んだり、自分の時間を作ることで解消できていると思う。
- ・現実には人に相談するのは簡単ではないから。個人のことでなければ人に相談したいと思う。（他1件）
- ・人に相談をすることが苦手であるから。自分の生育環境に起因していると思う。
- ・心配や迷惑をかけたくないから。相手のもっている自分のイメージを壊したくないから。
- ・友だち以外には言いたくないから。
- ・知り合いが少ない。
- ・時と場合により家族に相談する事もある。

Q30 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

	件数	%
1 職場の同僚	253	66.2%
2 職場の先輩	178	46.6%
3 職場の上司・管理職	174	45.5%
4 自分の親、義理の親	146	38.2%
5 自分の子ども	72	18.8%
6 親戚	16	4.2%
7 兄弟姉妹	72	18.8%
8 夫・妻、パートナー	229	59.9%
9 友だち	223	58.4%
10 近所の人	9	2.4%
11 保健師	4	1.0%
12 医師	30	7.9%
13 民生委員・主任児童委員	3	0.8%
14 子どもの担任の先生	18	4.7%
15 子どものクラブ・部活動の先生	1	0.3%
16 校長先生、教頭先生	24	6.3%
17 ゆうゆう広場・相談学級の先生	2	0.5%
18 スクールカウンセラー	8	2.1%
19 心理カウンセラー	13	3.4%
20 Facebook, Twitter, LINE, Instagram など SNS上の友だち	3	0.8%
21 その他	10	2.6%

(無回答=5、N値=382)

【その他】

- ・長年勤めた施設の長や同僚、保護者や現在の役職の研修などでつながった同業者など。(他1件)
- ・ボランティア活動の先輩
- ・同じ障害の仲間、障害者協会など
- ・弁護士
- ・医療や該当する機関
- ・メンター的な人
- ・仕事や家庭、その悩みによって相談する相手はちがいます。
- ・しない

Q31 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。(○は1つ)

	件数	%
1 したいと思う	207	54.2%
2 したいけどできない	27	7.1%
3 したいと思わない	146	38.2%
無回答	2	0.5%
合計	382	100.0%

【「したいけどできない」理由】

- ・特別相談所みたいなどころには相談しようとは、思わない。
- ・自分が相談した経験がないから初めてする時は少し戸惑うと思う
- ・そこまでじゃないかなと思う。なんか悪い気がする。怖い
- ・どこにすればわからない(他1件)
- ・悩み、困り事が複合すぎてどこから話して良いか戸惑う。
- ・説明が面倒
- ・時間に余裕がない。(他8件)
- ・Q30で解答した相談相手でほしい解決する
- ・他人ではなく家族に相談すると思うから
- ・自分で決める
- ・相談したという事実を知られたくないこともある(他3件)
- ・人と話すのが怖い、できない・わからないことで失望されたくない(他5件)

【「したいと思わない」理由】

- ・した時に何も解決につながらなかったから
- ・するのむづかしい
- ・「どこか」より「誰か」が重要だから
- ・個人的な事の為機関は利用しようと思っていない
- ・相談することが苦手なため(他1件)
- ・どこで漏れるか、わからないから(他2件)
- ・どこかに相談するのは、よっぽどのことだと思っているため(他3件)
- ・理解はなかなかしてもらえないと思う。(他1件)
- ・自分で解決できる(他1件)
- ・根本的な解決にはならないと感じるので。(他5件)
- ・そこまで悩んでないから(他7件)
- ・自分や周囲のことを知らない相手に心を許す気になれない(他6件)
- ・まだ身近な人に相談するところでおさまっているから(他25件)
- ・今、相談できる環境にいるから。(他45件)
- ・ほとんど解決できているので。(他3件)

Q32 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

- ・安心して相談できる場所（他 13 件）
- ・秘密を守ってくれる場所。（他 46 件）
- ・信頼感があり、アドバイスをもらえそうならば、相談したい。また自分と似たような環境の人には相談しやすい。（他 20 件）
- ・匿名でどんな場所でもいつでも気軽に相談できる場所（他 2 件）
- ・一対一で話せる場所
- ・悩みをよく理解し、解決に導いてくれそうな場所や人。（他 6 件）
- ・相談をありのままに受けとめてくれる所（他 10 件）
- ・気軽さがある場所（他 23 件）
- ・相談者の心情に寄りそい、しっかりと話を聞いてくれる場所（他 3 件）
- ・自分を否定しないでいてくれる場所話をきいて、理解してくれる場所（他 3 件）
- ・時間にゆとりを持ってできる所がよい。（他 2 件）
- ・時間的に相談しやすい、相手・場所（他 8 件）
- ・話しをじっくり聞いてくれる場所。上から目線で話さない場所
- ・同世代が集まる場
- ・悩みに適切なアドバイスをくれそうな場所。（他 14 件）
- ・具体的な解決策を提示してくれる場所。（他 16 件）
- ・公平公正な判断が望める機関（他 1 件）
- ・実際に、解決のために動いてくれる場所。（他 1 件）
- ・普段から関りのある人（他 28 件）
- ・ネットツールで気軽に送ることができるものなど、直接話さなくても大丈夫な環境。（他 1 件）
- ・勤務終了後で夜の時間帯でも話を聞いてくれる場所。
- ・家族（他 12 名）
- ・相談をメインにしているのではなく、何かのついでに話を聞いてもらうということをしてほしい
- ・新身になってまじめに相談にのってくれる場所（他 13 件）
- ・仲のいい友だち（他 6 名）
- ・同じ職種の人達の相談できる場（他 4 件）
- ・専門的な信頼度が高い場所（他 24 件）
- ・その悩みにあった相談所 ・完全中立の立場を貫いてくれる、第三者機関に相談したいです。
- ・同性の方がじっくり話を聞いてくれる場（電話）
- ・自分を知らない人に相談しようと思わない。
- ・外部の方に相談しようとは思わない。
- ・無料で、よく知られている部署（他 1 件）
- ・メンタル的に悩んでいるものはいろんな人に聞いてもらうのも一つの手だと思います。
- ・電話をしてみて、話し易いと感じる場所（他 1 件）

Q33 子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していくためには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

- ・子どもの権利を、大人も子どもも理解すること。（他 15 件）
- ・教育（他 3 件）
- ・「権利」と「わがまま」の違いをしっかりと教える
- ・学校教育と入試制度の改革が必要だと思います。
- ・金銭的不安がないようにしたい（他 12 件）
- ・安心して生活できる家族、家庭があること（他 17 件）
- ・子どもの安心というところで、親の働き方も含め、家族での時間を増やすべだと思う
- ・家庭が幹となり学校や地域みんなで育てていくこと（他 2 件）
- ・保護者の家庭教育力向上（他 2 件）
- ・親が自分の手元とはなれ、社会の中で生きる子の責任を果たすこと。学校で起きたことは学校の責任ではなく、我が子に起きたことを自分事とすること（他 1 件）
- ・保護者に対して、支援してくれる場所を増やす。学校だけでは支えられなくなってきています。（他 4 件）
- ・家庭で愛情を受けて育つことが大切だと思います（他 2 件）
- ・子どもの発想を大切にすること、子ども自信が愛されていると感ずること（他 9 件）
- ・信頼できる大人との出会い・自分が大切な存在だと日々あたり前に感じられる環境・衣食住があたり前に守られる生活・たくさんの愛情（他 14 件）
- ・虐待の連鎖をなくす方法を考え、改善していく。

- ・居場所があること（他 11 件）
- ・一人ひとりが自分にことを大切に思える環境（他 6 名）
- ・いつでも相談できる場につながれることが大切（他 8 件）
- ・未来は明るいという保障
- ・学校、家庭、地域との連携がしっかりしていて安全で安心な生活が子ども目線で感じられるようにすること（他 16 名）
- ・認められているありのままを受け入れてもらえる安心感をもたせること（他 8 件）
- ・子供が安心して子供の暮らしができるよう大人が整備すべき（他 2 件）
- ・人と人のかかわり合いが少なくなっている。子どもどうし、親、職員、地域など、かかわり合いが大切だと思う（他 16 件）
- ・まわりの大人、友達にありのまままでよいと認められること（他 14 件）
- ・思いやりの気持ち。
- ・全ての大人、社会が一人一人の子どもの存在価値を認めること。（他 18 名）
- ・尊重される社会。自分、他者が尊重される社会。（他 15 件）
- ・どんな子に対しても“やりたいこと”を形になるような体制が必要だと考えます。居場所や話ができる場所が限られているためか、SNS 等の自由に発言できる場に流れていくのかな、と感じています。“よい、わるい”で判断されるのではなく、自由に思いや考え、様々なことを発せられる場を提供したいです（他 2 件）
- ・大人が子どもに対して場所を提供する事も大事だが、子ども自身も積極的に取り組む事が大事だと思う。（他 1 件）
- ・決定権を持って行動できる環境（他 1 件） ・個性が受け入れられる環境（他 7 件）
- ・自分に自信をもつことがまず大事。おそれず、チャレンジできる環境が大切だと思う。（他 1 件）
- ・子どもが、安心して発言できる環境、発信したことが実現する成功体験（他 9 件）
- ・ありのままを認めてくれる環境（大人からの声掛け）、参加できる環境、参加して認められる経験が大切だと思います。経験を積むことで主体性が芽生えるのではと思います。大人には、観察眼、洞察力が求められます。（他 3 件）
- ・教職員のコミュニケーション、子どもが活躍する場を多く提供する（他 3 件）
- ・子どもがやりたいことややってみたいことに挑戦させてあげる。（他 13 件）
- ・親（保護者）だけでなく周りの大人がなるべく多く関わってあげて様々な経験や体験のできるような環境整備が必要だと思っています。また社会活動などに参加できる機会やチャンスがもう少しあるとよいと思います。（他 2 件）
- ・子どもだけでなく子どもと関わる大人、親に対してもあたたかい目で見守り支援してもらえる、環境を作っていくことが大切だと思う。（他 14 件）
- ・教職員増やす、保育園の環境をよくする。（他 3 件）
- ・地域共生社会の実現が大切だと思う（他 17 件）
- ・学校だけでなく家庭や地域など社会全体で啓発、雰囲気づくりをしていくことが大切（他 8 件）
- ・まずは大人たちが幸せでないといけないとは思いますが、働くことは大変で、自分の幸せが疎かになってしまう。だから、頑張りすぎずほどほどに、大人たち自身も安心して自分らしく生き、社会に参加しながら成長していければいいと思う（他 2 件）
- ・子どもの思いを大切にする大人の姿勢、かかわり（他 1 件）
- ・子どもだからと思わず、人として大人が対等に関わること
- ・子どものありのままの姿を受け入れ、応援し、子どもの育ちを支えることが大切だと思います。（他 12 件）
- ・子どもが自ら回りの大人に愛されていると自覚する事が大切だと思います。また家族が子ども自身の応援団である事も大切だと思います。
- ・障害の有無や育ってきた環境関係なく、子どもたちが生活できる環境づくりを大人がしてあげる。（他 6 件）
- ・誰かや何かにおびやかされなくて「普通」に暮らしていくことは難しいですが、子ども達が希望を持つためには、今の大人達、社会が魅力的でなければ不可能だと思います。現状ではしばらく難しいかと。（他 5 名）
- ・子どもの権利を、大人も子どもも理解すること（他 4 件）
- ・その子の親が幸せであること。そのために子育てしやすい、社会作りが大切だと思います（他 5 件）
- ・大人の世界で人権がきちんと保障されていて、経済的、精神的な余裕を周囲の大人が持っていること（他 16 件）
- ・子どもの気持ちになって考える事と、大人だからこそできる事を常に二本の柱で両方の側面から意識していく事が大切だと思います。
- ・大人も余裕を持たなくてはならないが、地域、国家を挙げて根本的なところの見直しが必要。
- ・子どもが安心して、自分らしく生きていく為には、関わりを持つ周りの大人も安心して自分らしく生きていく事が大切だと思っています。大人自身も自分を大切に身体も心も健康でなければ、子どもの人権を守っていく事は出来ないと思います。（他 3 件）
- ・子どものありのままを大切にうけいれることだと思う。親やまわりの大人が社会に参加することも大切だと思う。
- ・便利で速いことばかり求めず、失敗と一緒に楽しめること ・とにかく死なせないこと
- ・ろうの尊重、ろうの理解促進←（ろう文化も含む）・日本手話を広める（日本語対応手話ではなく）
- ・子どもの権利条例に書かれている内容。 ・成績をなくす。
- ・いそがせない五感を大切にする生活リズム

Q34 新型コロナウイルス感染症によって、あなた自身の生活（家・学校・職場・地域など）の中で、悩んだり難しかった

たこと、また、工夫していることを自由に書いてください。

【悩んだり難しかったこと】

- ・子どもの遊びの保障(密になってしまう為)子どもの権利と感染対策のかねあい (他 6 件)
- ・マスクの着用や手指消毒の徹底。遊具貸出しの制限などすい分こどもたちがまんをさせている (他 3 件)
- ・庭での遊び時間をクラスごとにくれたことで十分な時間をとることができない (他 3 件)
- ・由に遊びたい。子ども達に対して「離れて遊んで」「マスクは鼻までして」等注意が増えてしまったこと (他 4 件)
- ・オンラインはできたが、結局対面授業でないと学べないことが多く、限界を感じた。自宅で学習できるなら学校はいらなくなるが、リアルな人との関わりをもたずに育った子どもが、どんな大人になるか想像すると怖い (他 4 件)
- ・陽性が出てしまった子への家庭内学習
- ・出席停止にするか微妙な状況の時 (他 1 件)
- ・親の仕事(休暇)接触者で休むことや職員も有休で休んだこと (他 1 件)
- ・感染拡大した時期のマスク着用・物品の消毒への頻度 (他 3 件)
- ・(感染した人が悪いわけではない)誰が感染しているのか、誰が感染源の可能性が高いのかなどが表だって話題にならないよう、感染者が身近で出る前に、ウィルスや感染症への考え方を指導した (他 5 件)
- ・普だん通りの行事ができないこと (他 17 件)
- ・給食を早く食べ終わった児童への対応
- ・通常の実験学習が制限されたり、子ども同士の関係性が希薄になったこと (他 20 件)
- ・部活動のありかたや、大会に参加できなかったことで悩んだ (他 1 件)
- ・子どもの遊びの保障(密になってしまう為)子どもの権利と感染対策のかねあい
- ・コロナいじめや、疑いをもたれないように配慮すること
- ・密を防ぐために残業が増えている。
- ・一人一人の価値観が違う中で、全体指導をどこまで統一すべきか、という点。
- ・自宅から待ってきたゲーム機 1 台で複数人が一緒に遊んでいるため、3密になり注意してもやめられない子供が多い (他 1 件)
- ・指導方法 (他 1 件)
- ・静かにならないこと。
- ・給食中の指導 (他 7 件)
- ・食育
- ・マスクでの会話しかなく、共食ができず食事の楽しさを伝えられないこと
- ・おしゃべりしたいのに、おしゃべりさせないこと
- ・表情が見えない・グループ活動できず、学級経営に影響が出る・給食の黙食 ・臨時休校
- ・オンライン学習、長期欠席の子がいる場合の学級経営
- ・子ども同士の距離をとらせるのが難しい (他 14 件)
- ・落ち着いて電話が出来るスペースが無い。
- ・子どもの行動履歴を把握することが、とても難しく、どこまで詳しく報告するかが分からなかった。
- ・自分の感染による事業運営への不安。在宅勤務が成立しない
- ・人員が増えたとおもったら、まだコロナ禍なのに減らされた。現場だけでなんとかしろ、という事自体無理。
- ・日々の消毒作業等に仕事量の増加 (他 3 件)
- ・保護者と十分に話せない (他 3 件)
- ・エビデンスがはっきりしないことが多くやらなければならないことが増え本来の仕事以上のことに気をまわさなければいけないことに悩んだ (他 2 件)
- ・人手が少ない現場での、教具や室内の日々の消毒 (他 1 件)
- ・クラス別保育となり、担任の負担感が増えたように感じた
- ・食事場面で飛沫防止のため、個食になった (他 4 件)
- ・これから先もいつまで続けていくのか
- ・対策・職員間での周知・保護者対応・休園の際の消毒方法
- ・ソーシャルディスタンスを保つ事がとても難しかった。何度も何度も声かけが必要だった。マスクをきちんとつける事が出来ない児童も多かった (他 1 件)
- ・マスクを着けての保育で子どもに影響がないか気になりながらすすごしていましたが、子ども達は自然に受け入れてマスクをしていても保育士の区別は出来ていたし子どもは順応性があると感じました
- ・多数の子ども達の遊び方。保護者からの感染、濃厚接触の連絡が遅かったり、なかった事。聞きとりの仕方。
- ・上からの指示→こどものへの指導→きかない生徒→地域からの苦言→上からの指示→きかない生徒…くり返し出停扱い又は欠席扱いなどの判断 (他 1 件)
- ・長期間休まなければならないことを周りに伝えられないこと。登校することができない状況が続く、課題や授業に遅れが出てしまうこと (他 1 件)
- ・濃厚接触者の定義・感染者が出た時の対応
- ・外出自粛と、支援の両立・職員側の安全の保障とのバランス (他 2 件)
- ・コロナに対する感じ方が人それぞれで、価値観が多様な中で学校運営を行うことが非常に困難だった (他 1 件)
- ・面接の中断・対象児童の安全確認など
- ・保育園でどこまで感染対策をやるべきか? (他 2 件)
- ・感染防止するにはどうしたらよいか、感染防止しながら子どもと接するという事 (他 5 件)
- ・外からの目線やいろいろ考えると難しいことではあったけれど、おんぶしたり、ハグしたりひざにすわったり、必要なコミュニケーションをとりにくく感じたこと (他 1 件)
- ・マスクをしても生活で、乳児に保育者の表情が伝わっているのか考え、フェイスシールドを利用した事もあった。
- ・身体的問題でマスクをつけるのが難しい子どもと基礎疾患があり、ワクチン接種ができずコロナに不安感を持つ人が同じ場で過ごす時の場作り。
- ・集団生活の為、外出にかなりの制限をかけなくてはならず、子ども達のストレスが溜まりまくっていたこと (他 2 件)
- ・相談を受ける際に、子どもの所属先(学校圏)の状況がわからないこと。
- ・子供に沢山我慢させた事
- ・マスク熱中症どちらの対策が優先か。
- ・たくさん話した時の対応
- ・個々人の時代になってしまったので交流やグループ活動自体ができず授業がつまらなくなってしまったと思う。
- ・あれもだめ、これもだめ、まだだめ…いつまでダメだと言いつづければいいのか。
- ・コロナにかからないように健康管理すること。
- ・一緒に食事が取れなかった
- ・スキンシップを取る際、ちゅうちょを感じる事
- ・児童がうつに似た状態になってしまったこと
- ・長欠傾向の子どもがコロナ不安と言って学校を休んでしまっていること
- ・いろいろな学校から、施設に入ってくるので、コロナ感染症の状況が学校によってわかりにくい

- ・居場所提供利用の生徒がいる反面、自主通学や ADL 等の能力が高いという理由で学校とのつながりがなくなってしまった子供たちの訴え
- ・結局、多くの卒業生が進学している。何となく安心できる学校を選ぶ生徒が増え、その中でも指定校推薦を希望する生徒が増え、自分が学びたいことが学べるかという視点が疎かになり、ミスマッチのリスクが増大したこと
- ・対応方法がとにかく難しいと思う。未知のものへの対策、またその時々によって情報も変わっていたりするので、そのときにあった情報を拾い上げ対応していくのは難しい
- ・子どもにとって大切だと思う活動も、コロナ禍で実施できず、大切な経験の場を奪っているのではないかと感じている（他 9 件）
- ・なかなか信頼関係ができない
- ・当たり前遊びが奪われたこと（他 1 件）
- ・友だちや人との関りが“密”ということで難しく、それをどのように関わりを持つのかまた、関わりを大切だと、どのように伝えていくか（他 14 件）
- ・子どもとのコミュニケーションをどのようにしていくか（他 2 件）
- ・子ども同士のかかわりを離さねばならなかったこと（他 11 件）
- ・マスクによるコミュニケーション阻害→日本手話、日本語力が育ちにくい・コミュニケーションや人と関るのに必要な社会性が育ちにくい
- ・マスクで人の表情が分かりにくいゆえに、表情から感情を読みとる力が弱くなり起きて対人トラブル（他 4 件）
- ・シフトで人がかわる中、連絡の情報共有と守秘。（他 1 件）
- ・密を避け、マスクをした状況でのコミュニケーションのとり方
- ・子どもの成長において・させたい経験を制限せざるを得なかったとき、何が大切か、を精査するのが難しかった（他 3 件）
- ・子どもたちが、社会の状況に対応しきれず不安定になってしまった
- ・幼児期の言語を習得する発達段階で子どもが大人の口の動きが見られないこと。表情が読めないこと（他 3 件）
- ・保護者に現場を見てもらえないので、理解が難しい・交流の機会が持てない（他 2 件）
- ・感染対策に気を使った。また、家庭により感染症への意識の差が大きくあり、休園や自粛に対しての理解を得ることが難しかった。（他 10 件）
- ・場面に応じてマスクを外させること。（体育のときなど）（他 2 件）
- ・マスクをはずせない子どもが増えてきていること（他 3 件）
- ・マスクによる弊害
- ・マスクをつけられない子ども達同士の関わりをどうするか（他 4 件）
- ・マスクしない子への声かけ→何度も声かけしてお互いストレスになった。（他 19 件）
- ・マスクでの会話しかなく、共食ができず食事の楽しさを伝えられないこと
- ・マスクを着用することによってお互いに表情が読み取り辛い（他 19 件）
- ・ソーシャルディスタンスを保つことが非常に難しい。
- ・子どものマスクはすぐにズレてしまうので、困る

【工夫したこと】

- ・遊び方を工夫した（他 14 件）
- ・チャット機能を使い質問しやすい工夫をした（他 3 件）
- ・オンラインでの交流の場を作った（他 10 件）
- ・G I G A 端末の導入で授業が進化した（他 7 件）
- ・e スポーツの開催（施設関係）
- ・不登校の生徒とのつながりにオンラインを活用した。
- ・パーティーを購入し、みんなで食べる環境を整えようとした（他 4 件）
- ・部屋の入れ替えや、戸外での交流など紙面で報告。（他 4 件）
- ・保健室以外で、発熱した子をあずかる。（学校関係）
- ・面接時の対応や、面接後の部屋の対応などをマニュアル化したこと
- ・最低限の基本的な感染対策をひたむきに実施（他 62 件）
- ・行事の内容の見直し（他 10 件）
- ・学校が楽しいと思えることを企画した。
- ・クラスごとに行動（他 5 件）
- ・こまめな声かけをする（他 4 件）
- ・子どもたちと話し合いながら、できることを見つけていったこと（他 30 件）
- ・めやすばこアンケート
- ・連絡帳などで工夫して伝えた
- ・食事の工夫（施設関係）
- ・目元や表情に注目すること（他 10 件）
- ・気持ちをきく（他 2 件）
- ・教師側から積極的にコミュニケーションをとる。
- ・保護者や児童とこまめな連絡（学校関係）
- ・気分てんかんを可能な限り作り、ストレス解消に努める
- ・対面の抱っこを避ける。顔への接触を最低限にする。
- ・特に意識せず、普通に過ごす（施設関係）
- ・遊具をへらしたり、布類の使用をしない等おこなったが充分にあそべない状況がある。
- ・他者の意見がわかるように見える化して経験できない分知るきっかけづくりにつとめている。
- ・見えないウィルスとの共存にむけながら感染対策を適宜見直したことで何とか業務運営を行うことができた。
- ・仲間と協力、仕事の分担。
- ・運動時は自らマスクをはずしたり、声かけをしている。
- ・全員で外すタイミングを作ること。
- ・他人事ではなく当事者意識をもつこと
- ・メリット・デメリットについて考えさせ、共感的に行動できるようにした。
- ・透明マスクの着用。視覚言語であるろう者の私にとっては、正直言ってマスクは迷惑です（泣）。マスク着用を進める国の方針には大変失望しました。早く終わらせて欲しいです。（他 2 件）
- ・積極的にかかわる。
- ・管理職と相談しながら行った。（他 4 件）
- ・励まし続け、できる範囲のことを一生懸命取り組ませるための十分な準備
- ・コロナ感染があった場合、すぐに状況報告書をまとめるための書式（校内用）を用意した。
- ・できる範囲で行事や部活を行い、子どもの満足感を向上させたこと（他 3 件）
- ・子どもがコロナに感染したことが学校から子どもに伝わることをないようにしていた。
- ・すぐにまとめる、溜めない。
- ・48 時間は他児との関わりをできるだけ避ける。
- ・同じようにできるように方法を考えた（他 1 件）
- ・コロナ対策を工夫とよべるか…？
- ・給食中に楽しい音楽を流す。・友だちとの関わり価値づけを意識した。
- ・選択肢を増やし、各自が判断して納得して取り組めるようにした。
- ・笑顔で過ごす。

- ・趣味を見つけたり、共通の趣味をもっている友達と関わったりした。家族での団らんを増やした。
- ・勿論どちらの意見も否定はせず、あくまで園の方針として保護者に伝えていくことを優先した。その際、社会の様子に合わせて園全体でどうすべきなのか考える時間を作った。
- ・保護者の方に相談し、支援内容によって透明マスクを使用した。
- ・一人一人に合った支援・子どもたちがまんしてもらったら、「ありがとう」を伝える。
- ・できる範囲での活動を試みたが、なかなか難しいものがあった。
- ・視聴覚機器を利用しできることを考えた。
- ・子どもの育ちにとって不可欠でも、コロナだから・・・と諦めていた部分を、ここ最近では、やっぱり大切だよ、こうなら出来るんじゃないかな、と見直し始めている（他8件）
- ・動画視聴の時間など、話さなければマスクを外してもよいことにした。

『あなた自身のこと』についてお聞きします。（この回答で書いた人がわかることはありません。）

F-1 あなたの所属を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
ア 学校関係	199	52.1%
イ 施設関係	182	47.6%
無回答	1	0.3%
合計	382	100.0%

F-2 あなた令和4（2022）年4月1日での勤続年数を教えてください。（○は1つ）

	件数	%
ア 1年未満	18	4.7%
イ 1年以上5年未満	65	17.0%
ウ 5年以上10年未満	67	17.5%
エ 10年以上20年未満	95	24.9%
オ 20年以上30年未満	70	18.3%
カ 30年以上	67	17.5%
無回答	0	0.0%
合計	382	100.0%